

質問3 その他記述欄

・選択肢④を選択した記述（503件）

①、②、③それぞれ対応する必要があるのでは
①～③を平均的に考える
①～③全てをバランスよく進めるべき 1つが欠けてもダメだと思う。
①+②+③で総合的に検討すべき、一つだけ選択して解決できる問題ではないと思われます。
①②③
①②③および公費を含めて全体的に公平感のあるしくみ構築が求められる。
①②③全てが必要で、1つに絞るのは問題だと思う。
①②③全てを対象に見直す。
どれか一つの選択ではなく①②③の合わせ対策。
上記①～③を含めた検討が必要と思います。不可欠な高度医療は含めてあげたいし、過剰な高度医療は不要と考えます。患者の負担は収入格差によって差があっても良いと考えます。
上記どれか一つで解決出来るレベルではなく、全てを実施し、その上保険料徴収の徹底を強化すべき。
①②に同調であるが国の補助も増やすべき。
①で保険料が上がるのはやむを得ないが、②見直しも必要
①と②の内容は相反するが、どちらも当然のことであり、①と②が両立するような妥協点を模索するべき。
①と②を合せた方法。
①と②を両方とも進めるべき
①と③の両方
①と③を調整し、どちらも負担がかかりすぎない制度を望みます。
②、③で伸びを抑制すべき
②+③
②+無駄な支出を整理すべき。
②・③を進める
②③の両方が必要です。
②③をやるべき
②③を合わせたもの
②③項での両立を図るべきである。
②が基本ですが、無駄な検査・治療が多いのでは？診療報酬以外にも医療機関の収入源を確保できるよう抜本的な改正が必要では？
②と③に近い考え。必要な医療は受けられる様にしながらも、効率化を進め、過度の医療を抑える為にも、窓口負担も見直す。
②と③を合せて考慮すべきである。
②と③を合させた方法
②と③を合させた方法が必要である。
②と③を折衷したようなやり方はいかがでしょうか？必要でない医療を見直し、窓口負担も、とれる人からはとるというやり方はできないのでしょうか？
②と③を同時に考えるべきである
②と③を並行して進める必要がある。
上記②③を同時に組み合せ実施
ある程度のバランスを維持する中(例えば高額療養費が国民医療費の150%限度)で、上記②、③をミックスさせて、適正化させる。
①と言えればいいけれど、収入が頭打ち状態なのに、保険料が上がるのは、現実的には無理。かといって、窓口負担を増やしたために、望む医療が受けられなくなるのも、ひどい話…
①に近いが、高額＝質の高い医療とは必ずしもそうではないように感じる。
①に近い考えですが、高い医療も日進月歩変動します。この高度医療に対する保険適応を早急に進めて行って欲しいですね。これは医療の内容の見直しにも繋がるかもしれません。
①の考え方が、低所得者の事も考えてほしい。
①を基本とするが、自分が診てもらっている医者の中にも、〈熱がないのに、下熱剤をだしますね等〉明らかに、不必要な薬のショボウをする悪質な、個人病院があるのも現実。※帯広(さいれい内科循環器科)そういった医師へのカンシも必要と思います。不必要な栄養点滴や、薬のショボウが多く、通院をやめた→他の病院にビックリされた。
①質の高い医療を受けると同時に、医療を受けなくてもいい健康な体づくりの両面からすすめる。
基本的には①の考え方であるが、優遇されているものを全廃して格差を無くし又、関連する外部団体の整理と資金(予算)の流出をカットすべき
②と多少重複するが、診療データ(検査結果、治療方法、投薬等)がどの医療機関でも共有できる方法を作りあげる。
②についてもっとだが、見直し、効率化により医療行為の質が低下してしまわない心配
②にプラスして高度医療は通常の医療費とは分けて考えるべきだと思う(国の負担もしくは別の制度を考える)
②に近い、医療の内容を見直す必要はありますが、効率化を目指して質が落ちるのでは意味がない
②に近いが、医療の内容を見直し、効率化だけでなく、予防医学もふくめ、病気になりにくい体制作りを目ざしてほしい
②に近いですが、効率化のみではなく、不必要な延命治療をやめる事も必要と思います。
②の医療の内容の見直しはして欲しいけれど効率化を進めるのは怖い気がする。
②の考えに近い。何人か患者さんが来れば病院はつぶれないと話を聞きました。おかしな話です。
②の内容も高い薬材等は見直すべき。社会保障制度として公費を投入するべき
②は当然行うべきである。又、財源確保のため目的税等新たな制度の導入が必要。
②プラス制度の問題、被保険者の認知が進んだため、予定の手術等は、月初に入院、月中に退院する。
②を選ぶ、死にゆく者なので自然死に近いもので良いと思う。高額医療延命処置はいらないという方向に世論がなればよいと思う。
②を前提として、予防医学を国をあげて一層充実させるべき。また、終末医療のあり方について「死生観」を含めて今一度考える必要があるのではないか。
当面は②で医療費の伸びを押さえたいが、それによって医療ミスなどの増加がなければよいが。将来は窓口負担増もやむを得ない
③に賛同しますが、被保険者の3割負担は納得いきません。1割に戻すべきではないかと思えます。
上記③の上で、定期健診をしっかり受けている者や低所得者は優遇すべき
①～③のうち、近いものがないです。
①でも②でも③でもないのでは。
一概にどちらといえません。
どちらともいえない。
どちらともいえない。
どれも言えない
どの欄へれを入れるのもむづかしい。収入の少ない人が病院へかかれぬ、という所を、どのように考えるか。組合健保には一年間病院へかからなかつたら粗品があった組合健保もある(現在のことはわかりません)
難しい問題で何とも言えない。
難しい問題なので①～③のアンケートでは答えることができない。
たった1のデータだけで議論できる問題ではない。情報開示が十分なされていない。政策が不安定。医師会等の圧力もあるので一率に議論できない。
よくわからない。
よくわかりません
よく分からない。
わからない
どこかの県で高齢者の医療費が、健康づくりのおかげで少ない所があるそうです。そういうのに力を入れてはどうか？
もっと医療をうけなくてもいい体をつくるのが大事で、そこにお金をかけるべき!! 医療の内容は質の高いものであってほしいので先生、病院にはがんばってもらいたいです。
一人ひとりが健康に関心を持ち、防げる病気は防いでいこうにし(生活習慣病など)少しでも無駄に受診することをやめるようにしていくべき
医療を受けなくて良いような、健康づくりの対策を支援すべき
医療を受ける前の予防、意識等を考える
医療費を減らすため、病気にならない方法の検討 運動不足や高齢者の病院が社交場にならないための政策(どこかの市町村実施で医療費が減ったとニュースを見た事がある)
医療費を必要とする前段階、健康増進や検診受診等に公費を活用すべきではないか
健康な体を作る食事、運動を指導し、医療費の伸びを抑制する
健康への意識を今より持ってもらう事により、生活習慣、不摂生を改めて、病院に行く必要が少くなる様な取組みを行う。
健診、事後指導等を更に充実し、予防により医療費の伸びを抑制すべき。
健診の充実で、医療を受ける患者数の低減を計る。

健診への助成を拡大し、未然防止へ力を入れることも重要ではないか。(がん健診など)
 健診や予防の制度を充実させ健康増進に重点をおき医療費の伸びを抑制すべきである
 予防、終末医療の意識改善に努める必要がある。
 予防につながる施策をもっと行うことが必要だと思います。
 予防に力を入れて医療が必要な人を減らしてゆく
 予防に力を入れることが医療費の伸びを抑制することになると思う
 予防のための医療や啓蒙に力を入れる。
 予防医学＝『健診』に対する国の補助を増やすべき。
 予防医療(ワクチンや健診など)に力を入れ、医療費をさくげんすべき。医療きかんや製薬会社への天下りをなくして、医療費ねあげにつながる利権をほくめつする。
 予防医療、在宅医療をもっと増加させるべきである。
 予防医療に力を入れ、その利用費を低くし、利用しやすいものにする。
 予防医療に力を入れ個人の健康に対する認識を高めて医療費を減らすべき
 病気になる前の予防治療にもっと力を入れるべきと思う。日常のちよっとした心がけや、軽い運動等で病気になりにくい身体を目指し、医療費の削減の努力をすることが大切と思う
 寝たきり予防、病気予防など、医療費がかかる前に、啓蒙などを今以上にしっかりと実施
 どのように医療の内容を見直すのか、どのように効率化を進めるのか②の内容は不明である。基本的には予防医学の充実からスタートすべき！
 もう少し自分の身体について考えてほしい。病院へ行ったら病気が良くなると思うこともなく、薬を飲んだら良くなるかとでなく、年を重ねると病気になるのではなく、それと病気のように考えて治療を受けることが医療費が増える原因のように思う。
 医療費の削減には病気にならない体づくりをすべき。病気予防に力を入れるべき。
 高額な医療費がかかるような病気を未然に防ぐ為に予防接種や健診にも、保険料をあてて欲しい。予防接種や健診にかかる費用と病気の治療にかかる費用を比べてみて下さい。
 全体に云える事だが、予防医学、医療に力を入れ、健康な人間をつくる事を基本とし安易に病院にかからない事にすれば、医療費も減ると思う。その為には病院にかかったら個人の医療費負担を大きくする事も仕方ないと思う。収入により申請すれば軽減の対策も平行させる方向も必要。ひとからめに所得率ではなく、健康意識を高めさせる事も大切と思う。少々のキリキズ熱でも病院に行く姿勢もおかしいと思う。(行きにくくする必要はないが、医者にかかった費用と保険率収入がバランス良くなれば良いと思う。)
 未病に注力するべきである
 生活習慣改善指導を学校・職場・地域で行い、病気予防に力を入れるべき。
 生活習慣病等予防医学をより一層充実させて医療費を減らす事
 (病院がつぶれても、仕方ないと思います)医学の進歩と過度設備が、現実的に、私達の健康にはつながっていないので、予防医学をつまみ、根本から見直すべきです。
 大半を医療費に使うのではなく、医療を要せずにすむ健康な体を作る方へもお金を使うべきだと思う。
 どうやって死ぬか国民全体で議論すべき
 のぞんでいない延命その他、必要以上の薬付けなどをやめて、抑制すべきである。
 延命治療での費用割合はどのくらいあるのでしょうか？
 延命治療などについて、議論すべき。
 延命治療を保険適用外にする
 延命治療等は自己負担にすべき
 基本は②終末期医療等は家族の意思を強く反映出来る制度に(医師(病院)の延命中止が、問題とならないような)
 高齢化に伴う延命治療等、選択できるよう明文化できれば。
 終末期の医療費抑制を考える
 人工延命医療あり方(必要範囲等)
 生きる権利もありますが、どういふ最期を迎えるのが人間らしいのか(安楽死問題含めて)真剣に考え、考えた末に国として姿勢を決めてほしいと思います。
 尊厳死 むだな延命をやめる
 尊厳死を大いに認め、採用できる様に法制化する。→結果的に医療費をおさえる。
 見込みのない患者への尊厳死をすすめる。
 高齢者の医療は、かならず治療して治る病気であれば、治療をつづけるとして、直る見込みのうすい治療は、ある年命をすぎれば、生命を延命にのみ考えないで、家庭で最後を見守る方法をとり入れたらどうでしょうか。
 「生かす医療」から「活かす医療」への転換をすすめる。ある意味尊厳死も考慮していくべき。「娯捨て」も理に叶った制度であったのでは？一人に月50万程度かかる特老では国民が支えきれない。
 ある程度は保険料が上がるとはいえ、患者の負担にまわらないように、公費による支援を整えるべき。
 ある程度公費の支援を増やすべき
 医療高度化に伴う医療費増加分は、国民生活を守る為、公費によって負担すべし。
 すべて公的負担にすべき
 公的資金を導入して個人負担を減してほしい。
 公的扶助等生活保護の削減 生活保護者への医療扶助廃止及び自己負担削減・廃止による予算で補填する。
 公的負担を増やすこと(企業も含め)
 公費で補うべき
 公費による支援をお願いするべきである。
 公費による支援を増してもらいたい。
 公費による支援を増やしてほしい
 公費による支援を増やすべき
 公費による支援を増やすべきである
 公費による支援を増やすべきである。
 公費による支援等を増やすべき。安心して医療を受けることができるようにして欲しい。
 公費による負担を行った上で、保険窓口負担のバランスを考えるべき
 公費による負担を増やす
 公費の投入を増やすべきだ。その為に消費税を上げるのだから。
 公費も大切に。自己負担がないからと言って、ムダな診療は控えるよう1人1人が努力する。
 公費を使用し、国民の医療費支払いを抑制する
 公費を増やすべき
 公費を増やして保険料や窓口負担は抑えるべき。
 公費を増やす。
 公費負担(企業増税、消費税増)を増やす
 国(公費)支援を増やすべき
 国が税金で対応する
 国の社会保障を拡大すべき。
 国の負担を増やす
 国策で負担すべき。国民は限界。
 国家が負担すべきものでありましよう
 財源不足は国(国民全体)が補うべきである
 質の高い医療を、差別なく、受けられる様、公費を増やすべき。
 質の高い医療を公平に受けられるよう公費投入。
 質の高い医療を国民全体で受ける権利がある。増え続ける医療費は公費による支援が必要
 質の高い医療を受けるならば、医療費が上がっていくのはやむを得ないが、今よりも患者の窓口負担を増やすべきではない。医療費の増加分は国が公費を投入すべき。
 高齢者の医療、医療の高度化は国が公費で支援すべき。
 高齢者の医療・高額な医療の部分にもう少し公費をあててほしい。高額な医療を選択する自由を認めるなら、負担もするべきだと思う。自由診療も、見直す必要があると思う。
 高齢化している現状で、高額な保険料にするのでなく公費を増額に！
 高齢者が多くなり医療費が伸びるのは当然であるので、その財源の負担は公的なもので賄う様に。
 高齢化にともない医療費がふくらむとは思いますが保険料を上げるのではなく全ての人が安心して治療を受けることが出来る様、財源を確保し公費負担をする様願いたい。
 医療費の伸びを抑制する努力は必要だが、高齢になれば医療費もかかるのは当然であり、公費で賄うのが当然である。
 医師、病院の点数(支払)が多く見直しをすべきです。患者は弱者です。病院へ行きたいけれど医療費が高く、病院に行っていない方はほんとうに多いと思います。
 医師の医療報酬が少し高額に感じます…。
 医者に対する一病院に払う金額を減らすべき
 医者の給与が高すぎる。病院経営の効率的な運用により、医療単価を押さえるべきである。

医者や薬品会社の利益を圧縮し、医療費の低減や看護師の給与アップにまわすべき。
医療の内容、一つ一つが高いのでは？その単価(報酬)自体をまず見直すべき
医療費が高いからではないのでしょうか
医療費が高すぎる。
医療費そのものが高額すぎる
医療費自体が高いのではないか？
医療費そのものを安くしたら良いと思う
医療費を下げるべき。
もともとの医療費がたかいたと思う。医療関係者(医者、薬品会社etc)にも費用をおさえる努力をしてほしい。医療をうける側だけの話ではないと思う。
医療費自体を見直す。本当にそこまでお金がかかることなのか？ちょっとかぜをひいて、問診してもらっただけでも明細金額は大きい。そこまで本当にいるのか？疑問に思う。
「診療報酬と薬代」が、そもそも高い水準にある。医師の所得・病院の収入を減額すれば、患者の負担も減らすことができる。病院がかわる(診察を受ける都度、年に何回も同じ検査をくり返している。)
医療費の見直し。現在、被保険者は保険料の負担もあるが、医療費が高い為、病院に行きたくても行けない様な状態なのではないでしょうか？
費用について根本的な見直しが必要では？
薬の値段、病院に支払われる医療費を下げることは出来ないのだろうか？伸びも抑制できるのでは。
薬価や診療報酬を引き下げ、窓口負担を減らす。
医者の過剰投薬が多い。医者は処方箋を出すのみすべきである
医療・薬の見直しが必要。病院、特に総合病院では製薬会社等の関係からか、ジェネリック薬品を出さない所も多い。効率的で、しかも患者さんの為になる治療を行なえる環境にしてほしい。
診料報酬の削減と受益者負担増で効率化をはかる。薬は高過ぎませんか？
製薬会社と病院がもうけすぎている。診療報酬や制度を見直して欲しい。開発費と特許料の支払はおかしい。高額すぎる。
医療費自体の見直しも考えていただきたい。費用の根拠がわかりづらいです。
投与する薬や医療で使われる装置の価格見直しをすべき。
医療費の見直し(本当にそれだけ費用が掛かっているのか？医療機関、製薬会社がもうかる仕組みになっているのでは？)
医療の内容を見直し、高額医療制度は充実してほしい 人口若者減少のおり納税をえるため
医療の内容を見直し、必要ではないと業人がみれば判断されるような医療をしないことで医療費増加のカーブを漸減傾向にできると思う。医療費増加の傾向は年齢構成からすると避けられないので、少しでも増加率を減少する施策を行うべきと考える
医療の内容を見直し、保険適用外の治療が増えては困る。まずは、同じ効果のある安価な薬(ジェネリックなど)を安心して皆が使用できる環境づくりを行う。知ってはいるが、心配という声がある。
医療の内容を見直した後、医療を受ける患者の窓口負担を増やすべきである。
医療の内容を見直すことと同時に、普通の診療で治療しても治らない病気については、保険適用となるように考えていかなければならない。抑制も必要だが、保険料を長年払っていて、病気にかかった時保障されないこと、結局働くことが厳しくなり、保険料を納められなくなる。
医療の内容を見直すことも必要であると思うが、病気の方にとっては治療がより治ゆに効果が望まれるものであるならその方が良いと考えるし、今後国の課題としてとりこんでほしいと思います。
医療の内容を見直す事はとても大切。薬の出しすぎや何度も繰り返される検査等。
医療制度を根本から見直し、医療費の増加を抑えてもらう。
医療内容の見直しが望ましい。複数の投薬又は服用は必要なのか？現状を把握して頂きたい。高齢者に本当に必要な医療なのかを確認して下さい。
様々な意味で、医療の高度化、質の向上は望ましい面もあると思う。如何に適切に、効率的に提供されているかを厳しく見極め、不必要、過剰な医療費の伸びは減らしていくべき。
不必要な医療がある。そこにメスを入れないと変わらない。
ジェネリックをよく吟味し、良ければ推進する。
ジェネリック医薬品の利用をさらに進め、効率化により医療費の伸びを抑制すべき。
各医療機関にジェネリック薬品を浸透させるべき。
医療費が増え続けている主な原因は、新しい治療技術と「高額の薬代」に有ると思われるが、新技術・新薬共に研究開発費が絶対に必要で有り、それが含まれて医療費が高額になる。研究意欲を減退させるわけにはいかないが、ジェネリックをもっと強く国策として推進すべきである。
無駄な医療をしないようすべきである。医師の品質向上を図る事。
無駄な受診を防ぐ方法を検討すべき。
無料だからといって飲まない薬をもらうなどしているのを見直すべき
飲まない薬はもらわない。
飲まない薬を山ほど出されたり、本当に必要なのか、今の現状に疑問！？決まりを定めて見直すべき。内容を明確に患者側にも選択出来るが良い。
薬づけの医療は止めるべきである
薬の見直し。医者が本当に必要な薬だけを出す。医者と薬会社の関係がきになります。
薬づけの医療をやめることで医療費を抑えることが出来ると思う
病院等が必要以上に窓口で薬を与えていることを抑制すべき。
病院は薬を出しすぎる。
医療費の中の診察代よりもむしろ薬代が気になります。本来必要でない薬が過剰に(処方投与)され薬漬けになる傾向が強い。すぐに「うつ」と診断され向精神薬の処方しかも長期に渡る…etc。また、日本人ほど抗生物質にたよっている国民はいないのでそういう薬にたよる考え方の変化が必要な時が来ていると思います。人間は自然に治癒出来る力を持っているので…。
老人の診察で薬のだし方を検討してみてもどうですか。
医療が進歩する為に、保険料を上げなければならないと言うのであれば国民が納得できる説明をすべきで、単に、その県が医療費を多く使っているから、保険料を上げますと言うだけでは給与が上がらない者にとっては負担が大きいです
医療の効率化もちろん大切だが、高齢者は居場所がないから病院に行くこともあるので人々がふれ合うコミュニティを作り心身ともに健康的になれば医療費も減るのではないか。
医療の高度化と延命と同一に考えず、必要・不要を検討すべき
医療の高度化はさげられず、よって費用については、消費税の増加分で補充することを考えて個人負担を低くする。但し、入院期間を短縮させ、自宅介護を優先させる方向を考えては？
医療の高度化はやむを得ないが入院日数をへらすなどの工夫をしてもらいたい。皆、良い医療をうけるべき！！
医療の進歩を止める。この質問をしているあなたはと思う。命は地球より重いとかなんとか言っているくせに。
医療の内容によって窓口負担を変えるべきで、一率負担はやめるべきである。
まずは生活保護制度を抜本から見直すべき、恐らく、医療費問題も含め、現在、日本が抱える諸問題は、ほぼ解決できると思います。
医療費が免除になっている人の、時間外受診や、安易な受診、ハシゴ受診が多すぎるのではないか。もう少し福祉のあり方について検討すべきではないか。
医療を産業化し株式会社へ
医療を受ける患者の窓口負担は収入に応じて負担すべきである
医療を受ける患者の窓口負担を、所得により増やすべきである。
医療機関・行政が正しく、必要な医療を提供し、受ける側もムダな医療を受けないような対策を。健康であるための対策もより進めていくべき。
医療機関が「会社化」している。いらぬ薬、通院を長くする等、病院側に原因がある。
医療機関の不正受給を見直す事も必要と思う
医療技術の発展に関しては保険料が上がるのはやむを得ないが、効率化を進めて医療費の伸びを抑制すべきである。
医療費、負担額増が伴えば、医療を受けたくても受けられない者がでてくることへの心配があります。収入の内医療を受けた場合の割合が高すぎる現実に不安があります。
医療費が増えても医療機関が潤っている事ではない。国は目的を定めて増税し、医療費や年金に振り分けてほしい。
医療費が増え続けるのは仕方ないが、協会けんぽに加入している者だけ負担を大きくするのは勘弁してほしい。とにかく平等に！
医療費そのものの重要性を国民にもっと伝えてからでなければ上記①、③では解決に導かれないと考えます
医療費に関しては、適正な費用かどうか不明である
医療費のメリット制などあっても良いのでは…
医療費の回収をきちんとしていった方がいいと思う。
医療費の見直し・医療関係者の所得税見直し・医療機器の国家補助・医療機関の電気水道料見直し・複数診療防止(全国拠点医療機関設置)
医療費の伸びはある程度しか抑制できないと思いますが、並行して窓口負担を増やすことも考えるべきだと思います。
医療費の伸びは仕方ないことだと思うので、患者や被保険者だけが負担するのではなく、国が負担するような制度が必要ではないか。
医療費の増加によって受益者人や組織に負担をお願いするべきです。
医療費の中でも、最先端治療や最新高度医療難病治療は、保険医療と切り離し、全額公費扱いとして、それ以外を保険者の支払う対象とすることで急増する医療費を抑制することができる
医療費の中味の検討が必要。医師等の人件費、薬代、診断装置費用、など医療に係るコストを徹底的に検証することをまずすべきである。次にその対策を考える。
医療費の抑制は必要である(薬づけにしない)が、必要な医療は受けられることが確保されるべきである。
医療費の抑制を進めるべきだと思うが、投薬や検査に対する診療報酬点数が高くなる制度を見直しソフト面を重視するシステムに転換すべきと思う。また、窓口負担を一率にするのではなく5割負担、7割負担が可能になるシステムにしてはどうかと思う。
医療費は院外薬局を見直すことで下がると思う。患者様が病院やクリニックで支払う金額の他に薬局でも支払いがある。(無駄な点数がかかる)
医療費を全て国がまかなったらどうか。財源は無駄を省くこと、政治家の収入や数を減らすこと、収入が少なくて国民のための働こうとするのが本来の政治家の姿ではないか。

医療費を多くかけている人と少ない人で、徴収する保険料を調整した方がいい。むだな治療(医療費)があるので、その抑制になる。
医療費を払い治療を受けたくても受られない人々をホーローして上げてもらいたい。
医療費高騰の要因を(理解できるように)PRしつつ対策を考えるべき
医療費総額が上がるのは、受療人口(高齢化)が増加する事なのでやむえない。保険料を支払う年令層が少くないので、三方(保険料、窓口、国)が保険料を増額すべき一定のレベルの医療を受けるための応分の保険料を支払うのは当然だが、より高い医療を受けたいのであれば本人の選択(自己負担)とすべき。
一定の水準の医療は保険で(今のままで)高度医療は自費診療など、選択をふやす
一本化による経費の節減と収入に応じた負担を検討すべき
院外処方をやめる
院外薬局・介護保険のしくみの見直しが必要
何でもかんでもすぐに病院に行く体質を改善する必要がある。
何に医療費が重むのか、やはり精査すべきです。
過剰な医療に対する抑制と医療費を負担していない世帯への窓口負担の義務化
各自が先進医療や高額医療費の負担増にそなえ、現行の皆保険制度と別に個人で医療保険に加入すべき。
核家族とか生活スタイルが変化している事があるが、老人が元気に生活出来る施設を増設する事等が医療費の減少にもつながる様に思います。
患者の窓口負担は増やしてほしくない
患者の窓口負担及び公費支援の増額で、国民皆保険を堅持すべきである。また、救急車利用の有料化を図り、その収入を医療費に回すべきだと思います。
患者一人の医療データをどの医療機関でも共有し、医療費や検査の無駄をはぶき効率化すべきである。
看護師を含め、医療スタッフの賃金が高すぎる。看護師の業ムの全てが、高度とは思えない。
雁字搦め
技術の進歩も原因かもしれないが、ものが益れ、健康意識が薄れているのも原因だと思うので、そこを見直すべきだと思います。
技術は進歩しているのに財源を確保できない為に、医療の質が落ちるようでは困る。財源をしっかりと確保し、高度な医療を誰もが受けるべき。
共済組合を協会けんぽ並に！それが第一！！
協会けんぽと共済組合が一元化したのち、問題点を討論するのが筋である
協会けんぽのスリム化。
金持ちだけが、高度な医療を受けられる現状を変える。一医療の高額化をおさえられないか？
経済情勢の悪化に伴い、給与が落ち込んでいるため、医療費を見直すべき。
検査の技術は進んでいるが、実際高齢者は息をしているだけで、通常の生活をしている人は少ない⇒昔ならば老衰、不必要な検査が多く、医療費を圧ばくしている。
現在、各医療特約付の保険に加入している人が多い。高額医療費を検討しても、ジェネリック医薬品を積極的に使用してほしい。
現在の高額な医師の報酬制度に根本的な問題がある。また勤務医の報酬は現状でも良いが、開業医は大幅に下げるよう法改正すべきである。そうすれば、勤務医の不足はなくなる。
現制度の維持すべき一福祉国家(北欧スタイル)を目指すべきである
現役世代の食の欧米化が進み、平均寿命が低下し、将来的にはある時期から高齢者が減少していくのではと考える。一方高度医療費については、外資系の生命保険の安い保険料で加入できるなど話題になっている。それとのバランスがとれば、いつかは医療費の上昇が抑えられるのではと思考。
個々の納付保険料と使った医療費を考慮すべきである。個々による医療費の抑制
後期高齢者の窓口負担を増やすべき
後期高齢者になっても所得や貯蓄の多い人は医療費の窓口負担も3割のままでよいと思います
後期高齢者の収入に応じ窓口負担を増やすべき。
後期高齢者医療制度の復活
公平な医療制度を基準に、それ以上、以下の医療を求めるのは個人、あるいは家族の判断(自己責任)ですべきです。
公務員の給与は高いと言われるが、医師の給与も見直すべし。
効率化だけではなく、医療のあり方をもう一度考えてほしい。
効率化を進めると同時に社会保障(最低限の)は国がみるべき
高額な医療を受ける場合は自主診療とする。医療費の伸びを抑制すべき。
高額な医療負担を見直すべきである
高額医療については、患者負担とすべきである(個人的に保険に入る)
高額医療については保険の特典で対応できることを周知し、保険加入を促進すべきでは？
高額医療に関しては、もう少し本人負担を増やしたほうがよいと思う。
高額医療の上限を現状より上げていながら、今の医療を受けられるようにするなど、どちらか一方では成り立たないと思います
高額医療を希望する者に対しては、応分の負担を求めるべき。(所得に応じた上限の引き上げ)
高額医療費については収入のある人からは本人の負担分を増やすべきでは？
高額医療費の自己負担分の所得割の累進制を導入すべきだ。
高額医療費の上限を多少上げてやむおえないのでは
高額医療費の負担(費者)を軽減を考えてほしい
高額療養の対象となる時には、生活が厳しい状況にありこの制度水準は維持してほしい。但し通常の医療負担(窓口)が増えることはやむをえない。
高額療養や高度先進医療についてはもっと公費が入ってもよいのでは
高額療養費(限度額)制度の見直しを行うべき。例えば障害年金受給者で限度額認定を受けている方について、障害年金が収入とみなされていないため、本人限度額も低い。そのため、年金収入が医療費支出を大きく上回り、結果病院へ入院している方がお金がかからないような状態となっている。
高額療養費については、加入者の一定以上の場合、適用しない。
高額療養費に対する公費による支援拡大
高額療養費のあり方を考えればいい。
高額療養費のしくみを検討(お金のある人からはもらう。)
高額療養費の患者の上限額を見直し、負担額を増やすべきである。
高額療養費の見直し、基準を行なう高額療養費の窓口負担を増やすべきである。
高額療養費の所得に応じた上限を、現在の3段階所得ではなく、もっと所得段階を増やすべきと考える。さらに言うと、高額所得者は上限撤廃をしても差し支えないと考える。
高額療養費の所得制限を見直す。高額所得者は給付なし。
高額療養費の上限の検討。
高額療養費の上限を上げるべき。
高額療養費の上限額を上げる等検討するべきである。
高額療養費は公平に負担すべきものでないのでは？
高額療養費を一般療養に変更し、医療費の伸びを抑制すべき
高額療養費を下げる。公務員の給与15%カットが必須。
高額療養費を受ける方の負担割合を考え直すべき。
高額療養費制度の見直し
高度、高額な医療、医薬品などは主に難病の対応に伴うものと思われるが、これらの対象者が公平な医療行為が受けられるよう公費負担を増やして、安心社会と医療技術の発展を期することが必要と考える。
高度な医療について、高サービスであれば窓口の高負担はやむなし。(享受する者を対象)
高度医療と一般医療の線引きをきっちり(よりはっきり)することで、一般医療を保持できるよう、負担額を見直す。
高度医療の技術開発や新薬開発に多額の費用がかかるのは理解できるが、それをそのまま医療費に転化するのはいくらなんでも。医療報酬や薬価の水準を下げなければいつまでたっても同じ。
高度医療を受ける場合の個人負担はある程度あっていいと思う
高度先進医療は財力に余裕がある人が自費で受診すればよく、一般平民は、通常の診療でとはならないか。「金持ちが長生きできて貧乏人は早く死ぬ。」と言う人もいるでしょうが、どこかで線を引く必要あり。
高額所得者の上限をなくして、上限なく、同じ保険料率で保険料をおさめるべきです。一般所得者のみ収入に応じた保険料というのは不公平です。
高額所得者の負担割合を増やす。
高令者医療は公費を主財源とした別枠制度を創設すべき。
高令者医療制度を見直してほしい。
高齢になったら働けなくなると思いますが。健保きょうかいではなく、国保の加入者です。日本国民及び日本で働いている外国人迄も保険料を徴収すべき。
高齢になっても安心して、医療を受けられるよう、公的な費用を増やすと共に、健康維持の為に策も今以上に必要とします。
高齢化については、若い世代が産産・育児がしやすい状況を作り、若い人口を増やす。高度化については、内容によっては自己負担はやむを得ないのではないかと。
高齢化に伴い現状維持のための治療を受ける看者数は増えることから、同治療の報酬体系を見直すとともに、病院経営の合理化指導を徹底すべき。
高齢化の為、将来は医療費は増加しつづけます。その為、現在の診療報酬を抜本改革をしなければ対応出来ないと思います。

高齢化社会が進むにつれて医療費が増大するのは当然である。医療費を何とかして安く出来ないだろうかと思う。高齢者が安心して病院に行けないのでは、医学が進歩しても全く意味ない。難しいだろうが、医療費を安くして、安心できる老後を迎える事を切望する。

高齢化社会というだけでなく、難病・ガン等重大疾病がある為、医療の高度化は必要不可欠であり、新薬の開発にも力を入れて頂きたい。保険料を上げる個人窓口負担を増やすというのではなく、制度事態の見直し公費の振り分け方あり方を考えて頂きたい

高齢者が加速度的に増える中で現在の制度は破綻(もしくははかけて)いる。医療がどうしても技術進歩していく中で、医療費の伸びは大きく抑制できない。公的医療サービスの質はあまり拡大させず、医療費を合理的に確保する必要がある。

高齢者が多く、現役世代が少なくなってきた人口構成ではやむを得ない。やはり長期的スパンで考えれば、出生率の問題を解決すべき。

高齢者が多くなるので保険料が上がっていくのはやむを得ないとも思われますが、上がり続けて行くのはつらいものがあります。

高齢者の医療費抑制を検討する必要があります。

高齢者の高額医療は倫理的に矛盾している

高齢者の窓口負担を増やすべきである。

高齢者の定義をまず変えるべき。そして、若者にばかり負担を求めるのではなく、「高齢者」の方々にも理解を求めるべきである。

高齢者の方で、医療費が安いために中には、安易に病院にかかれる人もいると思う。医療のあり方(高齢者に対する)を検討しては…

高齢者が日課のように病院通いをするのを自主的にやめてほしいと思う。朝の病院の待合室は公民館並の憩いの場と化している。誰かが来ていないと「あの人、今日は具合が悪いから休んでるの?」みたいな会話が飛び交うらしい。本当に病気で病院へ行かなければならない高齢者ならまだしも、そのような使い方が行っている方々の自主的な病院通いの抑制をもっと広げるべきなのでは?・高額療養費に関してはある程度致しかたない部分があるかと思う。医療技術の高度化に伴う費用アップはしょうがないのでは?病み上がりで気分が落ち込んでいる最中に金銭面でさらに落ち込むのは非常に辛いはず…。

高齢者が病院の送迎によりふれあいセンターに通う様に行くようは?に思う。

高齢者のしごとを失し、少しでも医療費の増加を減らす様にする。医療の高度化は、個人で考えて、受診したい方はある程度自分で負担する

高齢者のムダな医療費を削減すべきである。老人の集会場になっている病院待合室等が多いと思います。また、病院側自体薬づけにしない等早期より病気予防対策を国、自治体が率先して行うべきと思う。

高齢者の医療の内容において、自由診療部分を決めるべき。薬をもらっているだけとか、病院ではどうにもならない事(老化等)でムダに来院している

高齢者医療の仕組みを見直すべき 少ない所を更に減額させるのは困難

高齢者医療は、医療界の大きな収入源とみられてはいる(医療、介護を含め)。本当の高齢者の心身の健康維持にあった医療費の支払がされているのか疑問である。

国からの給付はある程度にして、後は個人が高い医療にするか、どうかを選択する

国は、安易に取れる所から搾取しているだけで、一般国民の痛みを理解していない。もっと我々からみれば不公平、無駄な所(国家公務員の給料削減、国会議員の定数削減、議員宿舎の家賃の値上げ、天下り役員の給料、退職金の見直し等々)数え上げれば腹の立つ事が一杯です。そのな時に消費税を上げるという。今までの年金、グリーンピア構想等厚労省が行った施策の失敗責任はどうなったのでしょうか。国民ばかりいじめないで財源確保に真剣に取り組んで欲しい。誰がやっても同じかも知れないが民主党は地に落ちた。

国家の存在理由の1つに国民の健康というテーマがあると思う。医療内容の見直し等々という、基本的な考えがおざなりにされている。効率化という事は、医療制度を維持する為の総合的な管理コストも含め考えるべきで、単なる目先の手直しをするたびに、複雑化し、コストがかかってしまう。本来医療そのものに、投入すべき財源が投入されない、いまの現状はそう思う。

国家予算の内訳(医療)が適しているかも含めて検討すべき

国際的に見て高い票価基準を改めるべき。医療分業されたが、その実態は(ダミー会社)Backマージン等ありそうで不必要な処分も多い様に感じている。

国民が皆平等に医療を受ける権利がある。収入や支払い能力によって受けるべき医療そちらにちがいがあってはならない。国の取るべき社会償還の原点と思う

国民全体で同じ医療を受けられる為にも、①と③ですが、やはり雇用等の社会的問題が少しでも良くなる事が優先でしょうか?

混合診療の検討

最低の医療は公費で、より高い医療を受ける人は保険+自己負担も選択できるようにする。

最低限の医療については安く、高度医療は必要性に応じて高くする仕組みを考えるべき

最低限の医療保証をし それ以上はオプションとして自己負担すべき

財産に応じて支払うしきみを考えるべき

事務経費の節約(無駄な配布物の削減)

治療技術の進歩は喜ぶべきことであるが、投薬の量と種類は見直し効率化が必要

自らの医療費は自らがまかなう。若物を犠牲にして、社会貢献??できない(ボケ老人、ねた切り老人)人に多額の医療費をかけるのはいかにがなものか?

疾病にあった治療(医療)が本当に行なわれているのかきびしく見る必要がある ムダな検査・投薬が行なわれていないかきびしくチェックする必要がある

疾病の程度により窓口負担を設定してはどうでしょうか(軽い疾病は高く、低収入者や重度は安く)

質の高いと称される医療は自由であるべき。保険適応としない。医療を見直して、過剰な診療や検査をやめさせる。1人1人検査データファイルを持ってばよい。データ管理して、データを共有させる。医療機関のチェックがまだあまいと思う。過疎地で儲かっているのは医者だけ。

質の高い医療(保険医療)を皆が公平に受ける為に必要な保険料の見直しは仕方ない 高所得者への保険料の見直しは?

質の高い医療が、保険料に直接上がるべきもとは考えていない。

質の高い医療と技術、薬の高い分の基準を決めて、患者負担を増やす。

質の高い医療に対する病院側のコストダウン

質の高い医療は窓口負担とし、一定の医療については、保険料でまかなうべき。

質の高い医療は必要。無駄な検査をなくす。ゼネリックで良いものはゼネリックにする。ゼネリックにない薬は現行のまま

質の高い医療を求める…患者の窓口負担増・効率化を進めた医療…患者の窓口負担減)選択制にすればよい。

質の高い医療を受けたいとは誰もが思う事でしょう。各が健康管理の意識を高める事により医療費を減らす事も一つの方法かと思えます。現在どりくんでおられます生活習慣病予防健診も将来に繋がる事かと思えます。

質の高い医療を受けたいのは、みんな同じだと思うが、薬等、抑制すべきところは、抑制して、連けいのとれた医療をしてもらいたい

質の高い医療を受けるために、増加する高額療養費は、公費負担するべきである。

質の高い医療を受けるためには、個人の意志による民間保険にすべき。

質の高い医療を受けるならば、保険料が上がるのはやむを得ないが、医療機関をぜんぜん使わない人もいるので、そういう人の保険料は次年度には下げるのがよい。

質の高い医療を受けるのに保険料が上がるのはやむを得ないのですが、医療費が増加する原因に高額な医療機器等構造的な問題が慢性化している事もあるのではないかと思います

質の高い医療を受ける権利は国民が平等になければならない! 医療・福祉・教育・子育てのため保険料の値上げ及び消費税の負担はしかたがない!!

質の高い医療を受ける場合、どこまで保険で対応出来るのか、それ以上は自己負担であることを明確にすべし。

質の高い医療を受ける人は、大抵富裕層の方だと思うので、(どの治療を受けるか、3割負担の対象でも、選択肢があるから)「これ以上、高度な医療を保険対象に入れていくのもどうなのかと考えます。」結局、3割負担でも高度なものは、富裕層の方しか受けられないし、高額療養費がどんどん増えていくような気がするから。

質問3が不明?年齢を重ねれば体調が悪くなるのは仕方がないこと 質の高い医療を受ける権利は全の人に同じくあるはず!!②③は選択には強引すぎ。扶養に入り保険料を支払わずに医療費の負担ばかり受けている人の窓口負担を考えてほしい。

実際患者にしてみれば①の心境だろうが、医療にお世話にならない人は③であろう。

社会保障・税一体改革関連法案の審議において適切に検討されるべきである

社会保障の充実をはかるべき

弱い方々への十分な支援が必要です。高れい方、少子については以前よりわりきつた事で、もっと早い対応を考えるべきだったのでは。

受診する側ももっとよく考えて時間帯や(コンビニ受診)はしご受診などをやめて不要な医療費がかからないようにすべきだと思います。必要な負担は、しかたないと思います。

受診のハードル(窓口無料化等)を低くし、重症化しないうちに治療できる環境をつくる必要がある。

収入より、医療費負担をすべきである。ただし、ボーダーラインは、中小企業の平均から算出すべきである。余りにも給与の格差がありすぎである為

重症の方からは取りたくない。軽度の症状で救急車をタクシー代わりにするような方に負担して頂きたい。

所得による公費支援が望しいが、問題も多いと思う…

所得に応じた支払上限額の見直し(高額所得者に対しては上方修正)

所得は何十年もあがっていませんので、考えるだけ重症に思えて体調が悪くなります。

所得区分を細分化して、高所得者(公務員等既得権益の年金を受給している人々)に応分の負担を求める。

諸税(消し税等々)から持って来たりして、もっと福祉国家を目指すべき

少子高齢化の防止

消費税などで、負担を抑制すべきである。

消費税を上げる。

なかなかむずかしい事だと思います。外国みたいに消費税を上げてでも福祉とかを充実させた方が良くないかと思えます。物を買う時にTaxはついていれば必ず払うのに…国保は払わない、年金は払わない、それなのに医療は受けたい、年金はもらいたいで不公平

分担を公平に考えるのであれば消費税を年金、医療、介護に限定し目的税としてアップすべきである 公平制が大となる

北欧のように、医療費負担はおさえるべき。そのために消費税増税は止むなしか。

上限設定は必要。保険でカバーする範囲を小さくする。

新しい治療技術を安価で行えるようにするべき。

新しい治療等が高額になるのは不自然。旧治療と新治療の差がどこにあるのかは患者にはわからない。すべての人が治療費の不安をかかえないで、平等に治療を受けられるよう考えるべき

新技術や新薬開発にかかるコストの見直し、効率化から手をつけるべきだ。①③は、貧乏人に死ねと言っているようなもの。②は、病院にそのコストをかぶらせようとしているもの。
人の命は、お金のいる人が、質の高い医療を受けられ、お金の無い人は質の高い医療を受けられないという差別できるものではない。人の命の大切さを考えるべきではないでしょうか。
政府に依る無駄な出費を洗い直し、必要な所へは重点的に予算を組むべきだと考えます。
整骨院における違法な保険の適用や、高すぎる薬価を抑えることで医療費や保険負担を下げることは可能である。製薬会社が多額利益を出している状態が異常なのでは？
生涯現役が当たり前の社会になれば、自ずと、解決する問題。
生活習慣病など自己責任で発病して投薬で対応しているものなどは、保険料を増加負担などしても良いと思う。
生活保護者の医療費を換えるべきである
生活保護世帯等自費負担ゼロの部分について厳正に審査検討するべき
生患者の受診抑制が必要。1疾患にて複数医療機関をタクシーにて受診する等無駄が多い。
生命保険等の加入により自己負担とすべき
先進国の医療の中央的的な内容を保険診療としてそれを大きく越えるものを併用する自費診療で行うという形が一番自然だと思う。上記の選択肢では②③に相当していると思う。又難病の公費助成も見なおすべきと思う。時々この人のどこが難病なのかと思うケースが老人でしばしば目にすることがあります。
専業主婦は支払っていないので窓口負担を増やすべき。
全ての国民が平等な医療を受けられる体制を前提とし不足分は国が支援すべき。
全ての人に同じ医療をするのではなく、年齢、希望にあった医療を進めていくべき。
全国の医療費の低い県町村などのとりくみや、保健・予防に力を入れ伸びを抑制する施策を検討すべき
全国の自治体で子どもの医療費無料化がすすんでいますが、無料化には反対。1割でも負担させるべき。
窓口負担の増加と医療の内容の見直しと両方で進めるべき。特にジェネリック薬の使用頻度がこの病院も少なすぎる。
窓口負担は、3割が限度と思う。高齢者から(払える人からは)、もっと保険料を徴収すべき
窓口負担を増やすのは本当に受診が必要な人が受診出来ない状態になりかねないので、負担増は反対です。医療機関の負担にならない程度の効率化が良いのでは。
窓口負担を増やすべき
他の税金のムダ使いを保険料へまわす。
他国のように、(本人に)医療費のかからない様にしていけるべき。
大企業、大資産家の優遇税制を止め、増税し、社会保障予算を増やしていくべき
第一に所得に応じた負担を求めるべきであり、第2にタバコ、酒など嗜好品によるリスク上昇を本人に一定程度負担させるべき。その上で足りなければ②の通り。
誰もが医療費を気にせず、高度医療を受けられる社会であって欲しい。その為には、高額所得者の方には、負担を大きく、年金生活、低所得者の方には、限度額を設け、不足分は、国が補助するべきだと思う。
地域医療と大病院との連携や、医療業務の標準化やコスト↓への取組にも真剣に取り組むことが大切
貯蓄金額に比例して保険料を設定する
適切な医療が施されているのか。過剰な薬の投与や不要(?)な手術など、不適切な請求はないのかについても監視が必要と考える
日本の薬価は外国に比べ高いと言われており、医療機器と共に適正なものにすべきです。さらに高齢化がすすんでも労働力人口はあまり変化ないと言われており、まずは、予防や早期受診により医療費の伸びは抑制できるのではないのでしょうか。
年寄りや金のない人間は早く死んでしまえと言わんばかりに思える。
年金受給額(他収入等)による負担額変動制の導入
年数に関わらず(資産・所得収入)の多い人には負担を求めるべき。
比較的簡易な医療の窓口負担は増やし、高度医療は負担を軽くする。もっと疾病予防教育に力を入れる
必要な医療は受けなければならないが、保険料は上げて欲しくない。
標準報酬月額の高額限度は撤廃すべきである。高齢者でも高額所得の人は自己負担を増やすべきである。医療報酬は適切か？(個人開業医の車が、ベンツ、BMWが多いのは何故か)
病院、薬局の仕入品に対する消費税を非課税にし、診療報酬を下げる事により医療費は必ず減らせると考えます。
病院に行く前に、相談出来る窓口を増やし、薬が必要なのか治療が必要なかの選別をする事も必要かも リハビリの施設と診察を別けるべきと思う
病院を社交場化する老人の規制
病気になった方を支えるのは保険だと思う。相互扶助の気持ちがないと、払う人がバカをみてしまうが、窓口負担も増やす事も辞むを得ないのでは？と思う。
病院にたよらず、体質改善教室や、スポーツをするよう呼びかけてポジティブ思考になるようなイベント・講演会を開催する。
病気の種類等により窓口負担額を定める。(増やす)
病気を治すためには医療の進歩が欠かせず、医療費は増えつづけるのは必然と思われる。但し、医療費負担により個々の生活に支障をきたす事態は何としても避けなければいけないと思われるので、1及び2の回答と同じになってしまう。
無料の公的受診機関の設置(高齢者用)
遊びに行く感覚で病院に毎日のように通う高齢者をよく見かけます。病気によって負担額を変える或いは、限度額を設ける等の工夫が必要ではないか。
扶養者の人数によって保険料を変えるべき。独身者と妻子持ちが同じ保険料を徴収され、使用は断然後の方が多いの不公平である。
130万未満扶養の制度見直し。
負担アップが重荷とならない、健保、公務員の保険料率を上げるべし。現状はその逆となっている。…不思議に思える。
負担の軽減を望みたい。窓口負担の軽減が長寿社会を生み出している
平等に医療を受けられるべき
保険をつかわないですんだ人へのメリットがあるとよい。(一年間受診なければ率が下るとか)
保険制度の廃止
保険適用外の高度医療を受けられる人と経済的理由により治療を諦めざるを得ない人の命の重みに対する格差に疑問を感じます。
保険料、医療費だけをとらえただけでは判断出来ない。税の問題、少子高齢問題など、将来的ビジョンがないと、判断出来ない。トータルで納得のいく負担であればよいと思う。(将来的生活不安がないとか)
保険料の個人負担は、質の高い医療を受けるためにも、下げるべきで、②は必要と思われるが、③は、行うべきではない。
保険料の使い道が、これまで適正ではなかったと思います。医療に関連すべき事に使用してほしいと思います。
保険料の事だけを考えず医療全体を見てムダを除く事が一番だと思う
保険料はこのままで質の高い医療を受けられるべきです。無駄遣いしたのは、役所でしょう！私達は税金を払って、健康に気をつけがんばって働いています。病気になった時、手厚い医療を受けられるべきではありませんか？
保険料を上げるなら、上がっても年金で支払っても十分生活出来る様にすればいい。
保険料を上げるのはかまわないが、窓口負担をおさえるようになればよい。
保険料を負担している者が、病院に行くのをまんして生活保護受給者より病院にかかれない現状はまずいと思う
本人が自立しない限り、病院の予約に負けていまま現実があるので、医療機関の指導も必要だと思う
本当に必要な人が必要な治療を受けることができる様にしたい。今国が一番お金を持っている老人が1割負担というはおかしい。悪くもないのに病院をはしごしてまるでサロンの様に病院を思っている老人が多い。まじめな医者や老人も多いと思うが、今やあまりにもでたらめな医者や老人が多いのも事実である。
幼児は無料にした方がよい
老令化社会が来る事は40年前から判っていた。そのくせ協会けんぽ、国保に負担させ共済、健保組合を優ぐうしたむくいである。根本的に考え直す時である。
質問2に重複し、原因の一つとして上げられた質問であり、当然予想・対策がなされなければならない事である。返答も同様に。但し、医療費の上限を抑えられるか、国が負担軽減の投入をすべきであり、国民が身の丈に合った負担をする事は当然であり、助け合いの精神・人間の平等(格差平等)にて現代社会に於ける生活水準を確保出来る事が必須である。
75才以上は病院へ行ってはいけない様にする。年金をもらうか、病院へ行けるか、どちらか1つを選択してもらう。このままだと次世代は間違いなく早死にすると思う。日本国家が成り立たない。
80歳以上には延命治療をしないのがいい
アメリカ型医療制度と国民皆保険制度の融合
バランスのとれた方法があるはずである。開業医優遇も過ぎて厚遇である。夜勤ナン、休日休みで、年寄りの社交場の様相を呈しているながら、V型に気筒エンジンのベンツ&クラウンを所有し、滋賀県内に家を2軒持ち…等々、医療費の徴収&診療報酬収金で設計し直しが必要ではないか。
ムダな行政支出をへらして、国民の生命にかかわる医療費に回すべき。
ムダな税金を協会けんぽに回し、保険料も窓口負担も現状維持すべき。
レジャー施設を減したり財源の使い方を考え直す。
いくら質が高い医療でも高額になれば、あきらめる人もあるはず。そんな人がでないよう、少額で受診できる方法を考えてみては？
しくみそのものを改革する
ちょっとそれますが病院とけんぽの事務工数について 現在、出産の高額医療費について事前、事後の2通りの申請の仕方がありますが、必要ですか？もはや事後申請のシステムは不要と考えます。高額医療費にいたっては、申請の必要性もないように思います。入院時に保険証の提示をすれば、高額医療費部分の精算が可能なシステムできませんか？事も工数がずいぶんへると思っています。リストラ策なのでいいですか？
どうすべきかわからないけれど、高度な治療や薬を必要としている人は、かなり症状が悪いと思います。だから、頻繁に利用しなければならず、かなりな負担になると思われます。所得の低い人には死活となります。
質問1に同じ。

質問1の例と同じ(これ以上、国民の生活を脅かさないでほしい。)
質問1、2と同様。
質問2と同様の回答。「医療を使わなかったらどれくらい減る」という指標を指し意識づけする必要がある。薬などの販売規制を見直し、病院に行く前に直すことも考えるべき
前項と同じ
前述と同様
質問2と同じ
質問2と同じ
質問2と同じ
質問2と同じ回答
質問2に同じ
質問2に同じ
質問2の④と同じ考え方
質問2の④に同じ段階ではすべて信用できない。
質問2の意見に述べてある通りである
問2答え同様
問2同様

質問4 その他記述欄

・選択肢③を選択した記述（1,029件）

目的達成の為に効率的な取組であってほしいと願っています 今回のアンケート依頼は効果あるものと思います
①②で必要なことだけを行なってもらいたいが、必要以上に人件費を使って行なう事はないと思う！！
①②どちらも言えない
①②の見極めによってやめるべきこと、やるべきことがあると思われます。
①②共思うのですが、保険料は皆で使える様、経費には使いたくない、けれど医療機関の不正請求等はチェックしてもらいたいと思う。
①と②が、わるいとはいわないが、むずかしい問題です。
①と②の折衷
①と②の併用
①と②の両方(内容による)
①と②を組み合わせるべき。
①と②共に思いますので選びません。
①と②両方
①が基本です。協会の仕組みも事業主から見るとよく判りません。協会けんぽ、日本年金機構、事務センターが各々別の場所にあり非効率に思えます。(賃料・人件費)ジェネリック品の促進は良いと思います。
①と同じかもしれませんが、上記のような事は再度お金をかけてするものでなく、その時にきちんとなされるべきものである。
①に近いが、必要なことと不必要なことをよく吟味し、削れるものは削った方がよい。
①に近い意見で、送付された資料を何人が見て改善に役立っているか疑問で、保険料をどの程度使っているのか改めてほしい所もあります。
①に近い考えですが、取組むことは大変良いことです。その費用を協会けんぽ、健保組合、共済組合同士で支えあうべきではないでしょうか。
①に近い考えですが、上記の事柄に関する保険料の支出にもう少し合理化を進められないか？
①に近い思いです。上記の内容等で医療費の適正化になっているとは思えません。それより、出費額の方がかなり大きくなっているのではないのでしょうか。呼び掛けも必要ですが、今の状況では、それほど気にしている人もなく、あまり効果が有るとは、思えません。
①に賛成だが、全てやめるのではなく、必要なものを残せば良いと思う。例えば、勤めている者は、好きで医療機関にかかる程暇ではないので、医療費の状況を見ても、医療費を減らせられる訳ではないと思う。
①プラス、診療報酬制度の問題。
①のすべてやめるべきではなく、最低限の範囲で有意義に保険料を使ってほしい。
①のすべてをやめるのではなく、続けていった方が良い物は残してやめる。
①だが全ではなく、下から2つは必要と思う。
①ですがそれにたずさわる人件費削減を考えるべきである。
①無駄が出るならば、見直しが必要。②印刷物など考えたほうがよい。
①やめるべきとは言いませんが、費用削減できるようにしてやる。②お金をかけないやり方を検討できればよい。
上記①ただしレプト点検喪失者への給付防止チェックは必要だと思います
基本的には、①の考えに近いが、健診の促進と健診後の保健指導、健康相談などはもっとやるべき
基本的には②だが、人件費の割に保健指導など効果があるのか疑問しいものや、加入資格の再確認など事業所の担当者に負担をかけるもの、これらを伝える印刷物などが適正な費用(金額)で行われているのか気になる。お金をかければ良いわけではない。それよりも罰則を設けるなどしてルールを厳しくした方が効果があるのでは？(加入資格確認など)
②がもっともだと考えるが、年1回の医療費の状況を知らせるのを確定申告の際に使えるようにするべきである。
②が確実に見込みが高いものならば、お金をかけてもやるべき。
②だと思うが、内容を、再検討するべき。
②であるがみながわかるように数字や絵でわかるように案内してほしい。
②ですが負担にならない額にして頂きたい。
②と感じるが、効果があるとも思えない
②にすべきか、迷いました。年1回医療費の状況を知らせていただけていますが若い層の人達には、余り関心が無い様に思います。
②につき、極力お金をかけずにやるべきである。
②には効果が見込めるかどうかは証明できないのでは。
②に近いが、その効果の見積りは適正なのか再度点検願いたい
②に近いですがお金のかけかただと思います。
②に近いのですが…。費用対効果があるのでしょうか？大きな見込みがないのなら、お金をかけるべきではないと思います。
②に近いんですが、2年に1度とか予算をおさえてほしい。
②に賛成だが、シールの作成や内容の重複した印刷物など、もう少し見直しをはかり、無駄な出費は抑えるべき。
②に賛成だが、年1回の状況のお知らせは、余り必要ないかと思う。
②に賛成だけ出来ただけ経費をおさえて下さい
②に賛成であるが、極力無駄を省いて費用の削減に努めて欲しい。
②に賛成であるが、取組みの内容を見直す必要があると思う。
②に賛成であるが加入者負担を取組み内容に応じて求めてはどうかと思います。
②に賛成ですが、お金をかけるにしても限度を設けるべきだと思います。
②に賛同するが、ある程度の実績があれば、全てにかけなくてよいのではないかと思う。
②に同意しますがきびしくやって欲しい(医療機関によってはジェネリックは対応しないところもあります)
②に同意ですが、上にあげた取組みの中で、効果が見込めない 又は方法を検討すべきものがあると思います。「医療費状況」については費用対効果に疑問があります。
②に同意致しますが必要以上にやる必要は無いと思います。(経費削減上)
②のとおりだが、3番目の医療費のお知らせは不要と思う。
②のようにお金をかけてもやるべき事はすすめるべきであるが、とにかく無駄が多すぎると思う。
②の意見ではあるが、その効果があるかないかの判断をしっかりやるべきだ。
②の意見ではあるが他の機関とも連携を取りなるべくお金のかからない方法で行なえれば良いと思います。
②の意見に近いが、追加としてジェネリック医薬品については患者よりも病院の方で選択案を患者に提示してもらおうようにして欲しい
②の意見に近いが、費用対効果は誰が判断するのか？私見は国民であると思料するが、その判断指標が不明確である。
②の意見に賛成ではありますが、実際上記の取組みの中で、必要でないと思われる取組もあると思います。大切な保険料ですから大切に使うべきです。
②の意見に大方賛成であるが、どのように費用対効果を検証しているのか疑問。効果がないものは即時にやめるべき。
②の効果のでているのかどうか、わからないので、何とも答えられません。
②の効果を経費より上回っているならば下回ってなるまで止める
②の効果による。現状は？
②の考えですが、費用対効果の見積りはむずかしいと思う。効果の大きい取組みに限定したらどうか。
②の考えに近いが、このような紙代(コピー用紙)もムダになると思うので経費を考えながらの費用対策をお願い致します。
②の考え方を基本的に、費用対効果を見える化してほしい。
②の取組は既に行われているので、その効果を検証された上で今後の対応を見極めていただきたい。
②の取組みは有効だと思うが、お金のかけ方は極力抑えてやるべきである。
②の費用対効果は、誰がチェック(判断)するのか。日本人の健康増進の為、時代のニーズにあった取組を効率よくすべきだ。
②は医療機関を指導すれば良いと思う(個々への通達は必要なし)③は多数の人がゴミにしている感じ(通信費や印刷費削減)④は協会けんぽの事務処理が適正に行なわれていれば間違いはない筈(再確認の通信費は不用になる)
②より以上に健康増進のけいもう活動を行って医療費抑制を図るべし
基本的に②だと思いますが、内容等についてムダのないようお願い致します。
基本的に②に近いが、投資している金額がいくらになるか？…も問題では？結果、あまり削減見込がなければ場合によっては止めることも必要かと。
基本的に②の意見であるが過度の合理化・効率化で将来に問題を抱えないような見直しを立てておくべきである。
基本的に②の考え方に賛成しますが、お金は最小限にとどめてほしい。
基本的に②だが、費用対効果をもっと精査すべき。本人の医療費の状況を知らせることで、どれだけの医療費の抑制になるのか疑問。
基本的に②ですが、ムダが多すぎるような気がします。本人の医療費の状況を知らせることで、どれだけの医療費の抑制になるのか疑問。
基本的に②ですが、実施する内容のチェックと結果に対する評価も必要だと考えます。
基本的に②ですが。

基本的には②に賛同するが、現在の医療費のお知らせは意識の向上には至っていないと思うのでやめるべき。また、加入者資格の再確認は、算定と同時にいえば経費の削減に繋がると思われる。
基本的には②だが、ある対策を講じたことにより、いくら支出が削減できたかは実際に把握できないと思う。それならば、いっそのこと支出をゼロにすれば少なくともその分の削減にはなると考える。(但し、資格の確認やレセプトの点検は必要だと思う)
内容によって①又は②になると思います。
選択肢がやめるか、やめないかの2つでは極論です。整理する必要があります。◎の一番上は極一部ですべてに対応は無理×。◎の3番目は必要ない。
上記①・②は極端、今までの結果に元づいて検討・改善を日々行ってほしい
どちらでも
どちらでもない。本当に必要な事も再度検討してすればいいと思う。
どちらとも解答できません
どちらとも言えない！ジェネリック医薬品も自らすんで医者に申し出たが、結局身体に合わず(飲むと吐き気が続いた)一概に安いからいいというわけではない。まだまだ費用を削る分野は多大にあるし、もう少しインパクトがほしい。
どちらとも言えない。
どちらとも言えない。
どちらとも言えない。結果的にやりすぎないようにしてほしい。
どちらとも言えない。費用対効果が明確でない。
どちらとも言えません。上記の取組みにかかる費用の金額にもよる。
何とも云えません。
よく、わからない。
よくわからない
よくわからない。
よくわかりません
よくわかりません
わからない
わからない
分からない
分からない
分かりません
1、2、3は、個人的にできる事なので力をいれなくてもよい。4、5は協会けんぽがもっと力を入れるべきこと
1、2は止めるべき
1、3に関しては必要がないと思う。
1、3は必要でしょうか？健診後の指導等は個人の問題であり、訪問の保健指導等はいらないと思います。また、医療費の状況のお知らせは、必要な人が申請すれば良いのではとおもいます。
1. については、実効性が疑問である。(保健士等にかかる費用の方が大きいのでは?)3. については、実効性が疑問である。5. については、もっと厳しくやっての方が良いと思います。2. 4. は効果大であると思います。
1~3・5と、必要でしょうか？
1~3は効果無しと思う。必要なし。4事業主まかせではなく、自ら情報を収集し自動化すべきである。5効果のほどはわかりませんが、不用な治療が行なわれているのであれば、無くすべきである。
1~3項目目までは見直してよいと思う。
1地域の保健師の活用、2すべてジェネリック薬品とする、3自己責任 これらは、他でもできる。協会けんぽで行う必要なし。
1、3はやめるべき。2は元々の薬価が高すぎる。国が対策すべき。
1と3はやめた方がよい。4は当然。2と5については、促進・強化すべき。
1の保健指導～は余り必要ない様に思います。
1は必要に応じて、4・5は必要。2・3は不要
1は病院等の検査機関でも実施しているので、時期が重複する場合がある。よって不要。3は医療機関に1~2度しか行ったことがない方も送付されるので不要。該当者のみに送付すべき。また、病院によっては記載されないところもあるので不要ではないか？
1も2納得しますが、年一回医療費の状況をいただいています、見てみて、多く使ったから病院へ行くのを控えようと思う人が、はたしてどれ位いるのでしょうか、疑問に思います。
2については、業代が大幅に減少していきと思われそうですが、それ以外の事業内容については、ムダもあるのでは、仕事の簡便化とスリム化を図り、事業縮小・事業仕分けを更に推進すべきと思います。
2、5を強化すべき
2、4、5をすればよい。
2、4、5は、②の意見となりますが、1、3は①の意見となります
2は協会の皆様より医者へお願いしたほうがよいのでは 3こそムダ、意味がない、皆な、必要ないと言っています 4扶養の確認をきびしくするべき、本当に働いていないか 市町村が発行した証明書を送付するべき、組合などで運営しているところもつきばいす
2番目4、5は良いと思う。3番目は確定申告に使えるものにすべき。本来、保険料が今後足りなくなるのは目に見えているので、子供を増やす為にも、不妊治療やシングルマザー、保育園や幼稚園を整備し、小児高齢化対策に力をそそぐべき。
3(手番番号)は必要無いと思う 4に対しては若者や子供に対しては考えた方がよい。今の若者は高齢者の医療費で負担が高すぎる。
3が不要
3つ目の医療費のお知らせは必要ないと思う。どうせ出すなら、確定申告で証明書として使用できるものにしてもらいたい。
3つ目は不要。
4「加入者資格の再確認」と5「レセプトの点検」はすべきと思う
5つの項目のうちやめるべき、やめないべきかあると思います。5は必要と思われる。医療機関の水増し請求はないようにしてほしい。
5は必要度が低いと思う。1~3は教育の一環として、職場のみならず家庭や学校での周知もあってはよいのでは。
3-費用の無駄 4・5-取組というより、あたり前に行うべきこと。
(要)ジェネリック医薬品使の促進、保健指導等は良いけれど(不要)医療機関からのレセプト、医療費のお知らせ等は無駄な気がする
指導や相談:医療費の状況の知らせは無駄と思う
行うべき取組みと、やめるべき取組みがあると思う。上にあげたものでは、健診後の保健指導と医療費のお知らせはあまり効果がないのでは…?理由)保健指導…指導を受ける方はだいたい通院されている方。病院の先生からいろいろ指導されていてわかっているの、あらためて指導の必要はないとの声がある。(従業員より)医療費のお知らせ…どのくらい医療費がかかったかは、それを見れば分かるが、病氣やケガというのは突発的にかかるものがほとんどのため、医療費を節約するということにはつながらないと思われる。
特に項目1. 2. 3は協会けんぽでやらなくても良いと思います。ジェネリックは、医師や薬剤師に変更してもらいたいし、医療費のお知らせは、見て、その場で終了です。
一部必要だが、一部は不要。健康相談、保健指導は不要と思う。
一部は保険料を使ってもいいけど必要でないものもある。
現在の取組みがすべて必要ではないと思われる
必要な事もあれば、そうでない事もある
全ての取組みが不必要とは言いがたいが、協会けんぽも自身もつと医療費以外で節約できるものが多々あると思います。医療費の状況郵送は不必要。保健指導等も各病院通院で行なわれるので不必要では？
全ての人にお知らせを郵送するのではなく、特に高額の人のみ抽出して送れば良い。経費のかけすぎではないか。
全てをやめる必要はないが、インターネットを用いてレセプトを点検できるようにするなど、ムダははぶくべき。
全てを保険料で賄うのではなく、本当に必要なものをよく考慮すべきだと思う。
全て必要な事柄なのかよくわかりません。
全部やめるのではなく、本当に必要な事だけやってほしい。例えば、年1回の医療費の状況は必要ではないと思います。
全面的やめることはないと思うが、ムダもたくさんあるのでは？
一部業務の見直しも必要ではないか(無駄が無い)か(必要でない取組みは無い)か
上3つの◎は国が、下2つの◎は保険者が実施
上にあげた各種の取組みの実施もいいが、これを進める上で、もっと経費削減が出来ないか検討する事。ムダな経費及費用(人件費・物件費)の削減も図るべきです。
上にあげた各種取組を行っているが、あまり効果があったようにはみられない。もっと効率的に行えるもの考えるべきだと思います。その為に必要であれば、お金をかけてやることも良いと思います。又、保健指導も異常の見られる方を指導されるものも分かるのですが、今は異常はなくとも、後々見られるかもしれないので、対象の方だけに行うのは、違うのではと思いました。←『希望の方だけ』というのと同じだと思います。
上に記載されている取組みの中で、不要なものもあると思う。
上の3項目は特に必要ないと思う。健康については最終的には自己責任であり相談や指導されても限界がある。ジェネリック医薬品は医師に伝えづらく活用した事はない。
上の取組みについて必要でないと思うものもある。

上記、取組みがすべて不必要であるとは思わないが、健康指導・保険相談は内容が希薄であり、現状のままでは人件費・時間の無駄であると思う。医療費のお知らせについても、確定申告に添付できる書類でもなく、医療費の支出の適正化に繋がっているとは考えにくい。

上記④の4番目は不要では。給付の出所が違うだけで、医療費削減には寄与していないのでは

上記⑤健康後…と⑥医療費の状況は必要ないと思います。他の取組みにも不必要だと考えている加入者はたくさんいると思います。

上記1をもっと支援していくべき→民間に委託するかも民間が参入しやすくする 上記2はジェネリックであっても効果が同じであることを公開し知らせるべき 上記3は費用の無駄(これにかかわる人件費、郵便料)ははぶくべき→やらずで良い 上記4は窓口の対応をしっかりとすることで防ぐべき。別組織でやると無駄が増える。上記5は必要と思う

上記3つは自己管理であるので、費用はかけない。下記2つは不正があれば請求すべき。

上記5項目は、どれも必要なことで、又国民の認識を得ておくべきことからやめてはいけませんが、一定枠額を定め、その範囲でということも必要かと。

上記5項目毎年行うのか、1年に1回は、取組みの内容についてチェックをして、いつも費用対効果があがっているか、検証して下さい。

上記については適当と思うが、保養施設や、プロに任せ方が経費削減につながる事業は検討すべきである

上記に書かれているすべてを行う必要はないのでは？検討すべきです。

上記の3、5は必要と思えない。また、1は現役世代より、多額の医療費を使う高齢者に必要。2、ソロメーカーは信頼性に欠ける。4、再確認をしなければならない程ザルなのか？欠格の時点できちんと処理すべき。

上記のことは費用対効果が見込めるのであれば、行うべきだが、適正な費用で行うべきである。

上記のもので必要なものもあれば必要のないものもあると思います。健診後の保健指導などの資料を多く送られてきますが、送料もかかるし、必要ないと思います。

上記のレポート点検のみ効果があると思う。

上記の各種取組にも不要のものがあると思う。せっかく保険料を使っているのに、もっとその他の各種取組についてもよく見直すべきである。

上記の各種取組は全て重要だと思いますが行政(省庁、地方等)の取組み強化により保険料の使用軽減を図ってほしい。

上記の活動に対して、あまり被保険者の興味や理解が薄いように感じる。患者として病院に行く側は、料金の事を優先には考えません。

上記の広報に使われるお金もまだまだ無駄が多いように感じられるので、けんぽ協会としてまだまだ見直す必要があると思う

上記の項目が全て必要とは思えない(健康づくり支援)

上記の取組は国、県、市町村がすべきである。協力している。

上記の取組みに係る費用は出来るだけ最少として、最大の効果を上げて下さい。

上記の取組みの内、保健指導や健康相談については以前に受けたことが何度かありますが、事務的であまり意味をなさなかったように思いました。他に医療費請求については重点的に行ってほしいものです。多めの薬剤の処方、過剰な機能訓練等を体験したことがあり、疑問を感じたことがあった。

上記の取組みをひとつにまとめて①もしくは②で回答を求めておられる事が理解しがたい。健診費用の負担、保健指導、健康相談、年1回の医療費の状況のお知らせはやめるべきである。ごくごく一部のしか参加できないセミナーも保険料のむだづかいです(武庫川女子大 鈴木秋子先生のセミナー)。

上記の取組によって、どれくらい保険料が使われているのか。また上記の取組によって効果が現れているのか、加入者にわかると良い。

上記の取組の他に保険証の不正使用ができないように対策を至急すべきでは。(全ての保険者が対象)

上記の取組みが全部行うべき内容とは思わない

上記の取組みについては実施した方が良くと思いますが、その中の「年1回医療費の状況のお知らせ」についてはもらっても被保険者が何を確認すべきなのかよくわからず、効果があるのか疑問に思います。

上記の取組によって、どれだけの効果があるのか、しっかりと調べる必要があると思う。必要でない内容もあるのではないのでしょうか。

上記の取組により、どの程度、費用対効果があったのか？(結果)により、今後もお金をかけてやるかやらないかを定めるべきだと思う。

上記の取組の中で削除するものがあると思う(医療費のお知らせ・再確認)

上記の取組は必要と思われませんが、「医療費の状況お知らせ」については、疑問を感じます。

上記の取組をすることによって、保険料を圧迫するようであれば問題ですが、割合の問題だと思います。ただジェネリック医薬品の促進の仕方をもう少し検討した方が良いような気がします。着者側からは言いにくい所があります。

上記の取組をやることは結構なことであるが、最小限のお金をかけるべきで、そのための努力を望む。

上記の取組を全てを保険料を使ってまで行う必要は無い

上記の取組不必要なものもある(上記×印)

上記の全てをやるべきではない

上記の中で、加入者資格の再確認は必要だと思いますが、それ以外はやめてよいと思います。

上記の中で、必要性が低い取組みがいくつかあります

上記の中でも無駄があるのでは？②を選びたいが、お金をかけずにできることを考えるべきではないでしょうか

上記の中で必要な事とそうでない事、保険料を使ってすべきか、もっとげんみにつに仕訳する必要があるのでは。

上記の中には必要がないと感じるものもあります。

上記の内、医療費状況のお知らせは必要でない。

上記の二者択一の問題ではないと思う。

上記の必要性を再確認して頂きたい。

上記は保険料を使ってまでは取組まなくてもいいのでは…と思う。経費が削減されるのではないのでしょうか(70才以上の方のみ必要では)

上記を1～5とした場合、1については効果が認められているのか不明、結果が出ているならやる。2はやるべき。3は効果があるとは思えない。4、5は協会けんぽのあたり前な業務と考えるので、金をかけるのではなく、適正業務として適正化に努めてもらいたい。

上記以外にも必要のない取組みがあるのでは？

上記項目それぞれ有、やめるべき項目も有。

上記項目の下2つは行うべきと思う。他はあえて必要ない。

上記取組は行っていただきたい。ジェネリック医薬品の件では、医師などに言いにくい、とか、薬局でポスターなどないので、指示しにくい等あります。病院などには積極的に指導していただきたい。

上記取組で、医療費の状況のお知らせは不要と考えられる。

上記取組によって、やめるべきものと、やるべきものがあると思うので、全部の取組みすべてをひとつに決められない。たとえば健診後の指導相談は、あの内容では支援になっているとはとても思えない。しかし加入者資格は見落としのないようしっかりと確認してほしいと思う。

上記取組のうち、やめてもいいものもあると思う。

上記取組の中で、本当に効果がある項目を再検討を要する協会そのものの、経費削減の取組みははされているのでしょうか

上記取組は、やらなければならない事だと思います。お金をかけてするのであれば、もっときびしく見直しや指導が必要ではないでしょうか。

上記取組は、基本的なことであると思われるので、業務の効率化を図り、限られた予算の中でもう少し踏み込んだ対策を講じなければ、医療費削減は難しいと思います。

上記保健指導等、何人か受けさせてきましたが、あまり効果がないので、保健婦への給料等発生し、それも保険料負担と考えるともったいない。無駄です。いるものと要らないものをよく検討していただきたい。

各種の事務経費がかかりすぎているのではないかと。民営化、機械化等による経費削減が必要である。

各種の取組みをもう一度見直してみるのも1つの方法かと思う。

各種の取組みを行った成果がわからないので何とも言えません。

各種の取組みが果たして必要なか、効果があるのか、前例によらず常に検証を行うとともに、保険料を充てるべきか、国費等によるか検討されたい。

各種の取組みについて、全て必要ないとは思いますが、毎年、効果の有無を検証し取組みのみなおしをきちんと行うべきである。

各種の取組みの経費と効果について比較し必要性のある物の選択

各種の取組の中でも、必要なものと、無駄なものがある気がします。内容を厳選して取り組んでいただきたいです。(各社に保健指導者の派遣等はかなりの無駄 ジェネリック促進の為のシールも無駄、etc)医療費の不正請求のチェックを強化してほしいです。

各種の取組の中で必要なものと必要でないものももう一度確認してほしいと思う

各種の取組みを行なっているようですが、取組み前の結果と現在の取組まれた結果がわからないため(し)のつける事が出来ない

各種取組の効果を何らかの形で知らせていただき、意識づけの強化が必要と思われる。

各種取組は良い。さらに、電子カルテ等で患者情報の共有化を図れば効果的で数百億節約できる！

各種取組の中で1と2は続けていくべきだと思いますが、2と3は保険料を使ってまで行うことではないと思います。5については、通常の仕事の中で点検を行うことが適正だと思いますが…。

各種取組は大事だと思いますが、それを行う為の経費をかけ過ぎていていると思う。民間企業は徹底的に経費をおさえた方法を考えます。医療費のお知らせ筒一つとっても用紙など上質すぎると思われれます。

各種取組の中にもムダがあると思うので、民間企業的な考え方でムダ取りを実行し、取組みを継続してほしい。

各種取組は良いことであるが各々の内容を再検討し削除も必要である。医療費のお知らせによりどれ位の関心度があるのか疑問です。

各種取組を全く行わないのも問題がありますが、上記の医療費お知らせは、ウェブ利用閲覧の実施で通信費を積極的に抑えようとジェネリック医薬品についても医者の方からは説明することもないでしょうから、もっと促進できるように工夫が必要だと考えます。

取組により効果のあったものは続けてやるべきであると思います。

取組の内、健診後の保健指導、相談に関しては、保険料を使ってする必要はないと思います。これは個々の取組みであって、本人が希望するなら、個人負担の有料ですべきだと思います。

取組みの内容はわかりましたが、実際に、どれくらいの保険料が使われているのかがわかりません。仮に保険料の年分以上を使つての取組みでしたら賛成はしにくいですが、多少の保険料ならば今後の改善につながるのであれば賛成できます。
取組みの内容を常に見直し、より効果があがる方法(医療費の直接的な低減)を検討すべき保険料負担の一因とならぬ様、活動にかかる「費用対効果」を具体的に数字に出して経費を抑制すべき
取組みは、大切なことだと思うが「お金をかけてもやるべき」という点で、限度があり、それによって、保険料率が上がるのでは、どうかと思うので、見直す所は見直して行くべきであると思う。
取組みはいいと思いますが、医療ヒが多くなるので、できるだけ節約して行ってほしいと思います。
取組みは内容を見直し、お金をかけてもやるべき物とそうでない物を、よく見極める必要がある。
取組みは必要と思いますがその事にかかる費用の見直し(人件費、パンフレット等)は必要と思います。
取組みを行い効果がみとめられるものは継続し、ないものはやめて他に新たに策を考える必要があると思う。やらないこともやりつばなしも良くなく、けんとうを重ねて取組みを見直す必要性はあるのではないのでしょうか。
取組みを実施する際のムダがあるのではないかと。
取組1、4、5については積極的にやるべき義務がある。2薬の安全性を確認した上で！3状況を知らせる方法をもっとよく考えて下さい。今のものは無駄だと思う。
取組が甘い。
取組の精選をすべきである。(効果のないものは廃止に、効果のあるものは続行)
取組の中でも無駄なものがあります。4、5は必要と思いますが、1、2、3は、印刷代他無駄が多いと思います。1も自分で検査結果により判断できるはずですが。
取組は行うべきであるが、必要以上に経費をかけることはないと思う。(広告料・医療費状況通知など)
取組は良いと思いますが医療費の状況などにかかる費用を考えるべきだと思う。
取組み5について上から1、2、3番は、費用をかけて具体的にどのよう成果が上っているのを知りたい。
取組みごとに費用対効果を測定し、効果の上がるものは、費用をかけてもやるべきである。
取組みすべてがよいとは思えないものもあり、その内容を再度見直すことも必要だと思う。
取組みとしては正しいと思うが、保険料を使われるのはどうかと思う。経費が他から出て来ないのであれば、仕方ないとは…
取組みにかかる経費の削減をお願いします
取組みについては賛成であるが、内容について、今一度検討されてはどうでしょう
取組みによってはいらぬものもあると思います。例えば医療費状況は、事業所(当社)で質問したところ、見ていない、さつと目を通したという返答が多く、不要ではないかと思ひます。総合的に効果があるとは思えません(それにかかわる費用の方が多いのではないのでしょうか?)ジェネリック医薬品の促進は、大きく薬代の削減につながると思いますが、病院にはポスターが貼ってあるだけで、医師から勧められたことはありませんという返答が多いです。もう少し、促進を積極的にされた方がよいと思います。
取組みに付いては難しいものがありますが無駄な事も感じられます。ジェネリック医薬品の使用の促進はとても良いとは思いますが、いちいち患者側が言う事ではなく、病院側で指定し、薬を投与出来る様、義務つけてほしい。
取組みの4、5は必要と思うが1、2、3については不要と思う
取組みのうち、3は必要ないと思います。
取組みのうち、必要なもの、そうでないものがあると思う。
取組みの見直しも必要かと思ひます。医療費の状況等は無駄な気も致します
取組みの見直しをすべきだと思う
取組みの効果を見直して本当に効果のあるものは残して、効果のないものは止める(効果については、場合によって各項目毎にアンケートを行つても良いのでは)
取組みの項目によって見直し、廃止が必要。健康づくりや、ジェネリック医薬品の促進等のための働きかけや、レセプト点検、資格確認は必要だと思うが、年1回の医療費のお知らせは、現役の働らく世代(被保険者)子どもなどは、過去の病気の医療費を知つても、無駄な受診はないはずなので、作成して、送付する費用が無駄という声が多く、廃止しても状況はかわらないと思う。
取組みの中で、やるべきものと、やめるべきものがあると思ひます。検討していただきたい。
取組みの中で、必要なものと不要なものを見直し、必要なものにはお金をかけるべきである。
取組みの中でも、必要なもの unnecessaryなもの、仕訳が大事かと思ひます。
取組みの中に、不要なものもあるのではないのでしょうか。
取組みの中には効果があまり無いように感じられるものもあるので、なるべく方針を絞つて、費用の抑制に努めるべきである。また、短い期間での取組の見直しも行って欲しい。
取組みの適正さを1つ1つ見直すべきである。医療費の状況などは紙でもらつているが加入者1人あたりが諸費用として10円程度かかると試算しても億単位になる。そういった適正さを見直すべきである
取組みの内容により個々に異なる。①の場合も②の場合の回答に別かれる。
取組みの内容はほぼ良いと思うのですが、年1回とはいえ医療費の状況のお知らせは必要ないので思ひます。
取組みの内容を見直し、費用対効果が見込めるもののみをすべき。
取組みの内容を見直したほうがよい。(やらなくてもよい内容もあるような気がする)
取組みの内容を見直すべき。上から3点は、あまり効果が得られていないと思う。
取組みの内容を再考して、効果が見込めるもの、そうでないものを仕分けする必要があると思ひます。
取組みは、そのまま行って良いと思うが、パンフレット等の配布物等にムダがないか?被保険者はそれほど、手に取つて見ていない。
取組みは、その行為自体が適正であるかどうか内容しつかり見極めをし必要であれば②みたいにお金をかけてもやるべきだと思う
取組みは、良いと思うが、呼びかけ、訴え方がまだまだ弱いと思う。
取組みはやるべきであるが、医療費を抑制できないのか。
取組みは意識しております。年1回の医療費状況はあまり改善は見込めないと思われます。(1年近い状況は忘れていたのでは)
取組みは継続、ジェネリックの促進は国内開発を妨げる後発品ばかりの促進は、副作用他不安
取組みは賛同できるが保険料が上がることにより生活が苦しくなるのは困る
取組みは大切だけど、保険料を使うべきではない。
取組みは大切で今後も努力して欲しいが、費用についても限界があるかと思ひます。国の支援と行動力を期すべし。
取組みを見て見ると、一つ一つは当然の事のように思ひます。また削減できるところは努力しないといけないと思ひますが、お金をかけず、現在を維持できればいいとおもひます
取組みを再度見直し、保険料にて対応しているものの中より軽減していくべき。すべてするべきではない。
取組みを実施するために、ある程度保険料を使うことはやむを得ないと思うが、限られた経費の範囲内で費用対効果のある取組みを行うべきである。
取組み自体は賛成だが、あまり活用されていないように感じる。
取組み内容の見直し(医療費の状況通知は①)
取組み内容や取組みそのものをもう一度見直し、一般企業のように経費などの軽減を図るべきだ!!
取組み頻度の見直し。予防医療の紹介、ネット等、医療機関にも問題があると思ひます。
取組に1~5のNo.をつけた場合 1~3は不要-病院、薬局、テレビ等で常時促進している為 4~5は必要-不正を防ぐ為
取組を行うのはよいが、費用がかかりすぎている。もっと安く効果的にできるはずだ
取組んでいてもそれが実行につながっていない。もう一歩突込んだ取組みが必要であり、被保険者の具体的な行動につながるような施策が必要(例、ジェネリック医薬品使用カードを保健証にセット)
取組内容の見直し。(費用の節減等)
取組内容を見直し、事業主の負担をなくしてほしい。個人別の配布等は相像以上に時間と労力がかかっています。
取組毎に検証し効果の見込めないものは、やめるべきである。
基本的には、上記取組みには賛成であるが、「年1回医療費の状況のお知らせ」は、従業員が多いためかなりの労力となるので今後廃止もしくは効率化を図ってほしい。
様々な取組みを行つていただいているのはよくわかるが、必要な取組みとそうでない取組みを検討すべき。企業としては、いろいろな資料が被保険者宛に送られてくるが、本当に必要か疑問に思つものもある。
継続するものと止めるものを選ぶべきである
内容の見極め
内容や業務を見直し、コンパクトにされてはいいかでしょうか。
内容を精査し、継続・廃止を検討。
内容を精査し、効果のある事に使つてほしい。
中には見直しが必要なものもあると思う。(費用の負担が大きい場合は縮小も必要)
要不要を見極めてほしい。医療費のお知らせの意味を理解するまでもなく、廃棄されている現実があります。PRも不足しているし事業者に頼りすぎでは?
医療費の適正化からすると②の下2つは当然やるべきことであり、上3つは見直しが必要である。(徹底して政策としてやるべき)
不要なものもあるのではないかと、見直すべき。
不要な物はやめる。1番は皆ほとんど利用しない。3番は開封したら皆すぐに捨てている。見ない人もいる。関心など高まらないと思う。ムダはやめて欲しい。必要な人だけ発行するとか…
物によっては、やめるべき。
何が必要なのか見極めて行くべき!!
すべきこと、省くことの見極めが大事である。ムダな施策は、やめるべきである。
分野をしぼつて取捨選択をした上で判断するべき
やるべき事を見直す必要があると思う

やるべき取組みと、別にしないで良い取組み、また合理化をはかってお金をもってかけずにできるような取組みに仕分けしていただきたい。
やめるべきもの、お金をかけてもやるべきものと取組を見極める必要がある
すべての取組みに対しての意見ではありませんが、保険料を使って行う必要がないと思います。
必要・不必要を見極め、不必要なものは保険料を使う必要はない。
必要であるかないかを各々について検討する
必要でないと思われる通院や薬が多すぎる レセプトの点検を含めて病院の適正化をもっと調査すべきである。
必要と思うもの、不必要と思うものがある。1. 健康相談は(支援)個人の努力によるため、サラリーマンの健康診断のみで十分である。2. 医療費状況ハガキはほとんどの社員が開封しないと 思われる。3. 喪失者への給付は厳正に調査し防いで頂きたい
必要と思う業務内容も有る様ですが、民間企業は、リストラ等に取組み、出来るだけスリム化を行って。内部(協会けんぽ)で考えて、スリム化を希望します！！
必要と思われる項目のみ実施し、不必要と思われる項目はやめるべきである。(年1回の医療費状況おしらせは不要である)
必要と思われる事なら使ってもいいが、費用がどの位かかっているのかわかりません。
必要なこと、そうでないことの見直しをするべきである。
必要なことは積極的にやるべきだが、協会けんぽの経営の合理化も進めていただきたい。
必要なものと必要でないものを判断して取り組んでいけばよいのではと思う。
必要なものと不要なものをもっと選別しても良いと思う。(ジネリックの促進より、薬代そのものの値下げになる運動をするとか。健康相談の簡素化など)
必要なものにはこれまで通り行う。レセプトなどは希望者のみに送付するなど削減を図る。
必要な作業と不必要な取組(効果が少ない)とを区別し、月刊紙等経費を削減しても良いのでは。
必要な事は行って良いと思いますが、年に1度程見直しをしてみて必要でない物は中止し、必要な事だけを行うようなふるいにかける作業をしてほしい。
必要な取組(医者も患者も)を、出来るだけお金をかけずにやるべき。実際に医療を受けていて、ムダだと感じるものがたくさんある。
必要な取組であればお金を多少かけても良いが、適度なバランスでお金を使用すればいいと思う。
必要な取組みとそうでないものとの区別を行う
必要な内容もあるでしょうが、一般企業のようにムダな経費は、使わない努力はしてほしい。印刷物など…
必要な物に限定して支出すべき。
必要の有無がわかれると思います。必要ないと思うのは・保健指導→病院や保健所でもしている。二重サービスではないか。・医療費のおしらせ→必要ないと思う。郵便料金がもったいない。
必要以上に費用をかけている部分がある(パンフの異常な発行は辞めていいと思う)同じ内容のパンフが何度も発行されている
必要最少限の予算の中で、最大限効果のある取組みをお願いします。
必要最低限に抑えるべき
必要最低限のことを、お金をあまりかけずにやるべき
必要最低限の事業に絞り、支出減に努力すべきと考える。
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえ、主業務を拡充すべき。
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえるべき
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえるべき
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえるべき
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえるべき
必要最低限の事業に絞り込み、支出を最大限におさえるべき。
必要最低限の情報は、公開してほしいが、過度なまでのリーフ等は必要ないと思うので、郵送料も保険料からまかなっているのであれば、やめてほしい。
必要性の低い事業は廃止、縮小する。健康相談など…
実際に必要な取組みは、行うべきであるが、不必要と思われる取組みは長々と続けるべきではない。
絶対に必要(やるべき)なものもそうでないものももう一度見直し、経費削減をすべきである。
本当にキチンと上記に使用しているのであれば…。自分達の保険料は？どんな使い方してるの？
本当に医療費の適正化につながっているか見直ししてみる必要もあるのでは…(例:医療費の状況のお知らせ、健診後の保健指導や健康相談)
本当に効果があるならやるべき
本当に効果があるのかどうか、よく見極めて、必要不可欠なことは、中身を充実させ、実施する。
本当に適正化が図れているのか疑問。再診療費が果たして必要か。
本当に必要か取組み毎に見直し、無駄をなくすべき
本当に必要で効果が上がる事のみを行うべき
本当に必要とするものか、しなくていいものかを今一度考えることが大事な気がします。
本当に必要なものを仕分けするべき。まず書類、資料のばらまき、重複配布等から見直してほしい
本当に必要な医療費は仕方ないと思うが私たちもその要望について考えていく必要があると思う。
本当に必要な事だけをしてほしい。たとえば医療費の状況のお知らせや健診後の保健指導等はいららないと思う。
本当に必要な取組みだけにすべき(被保険者にとって)
さまざまな取組みの中で本当に必要な事を選んで行うべきだと思う。人件費等コストをかけてやらなくてはいけないのか、見直しは必要。そもそも社会保険協会は必要でしょうか。
費用がいくらかかっているかに依るとも思います。人件費・日数等無駄もあるように思います。
費用がかかっても必要と考える。(費用対効果以前の問題)
費用がどの程度か不明確であり、回答できないがどちらかと言えば②
費用をかけず、加入者にメリットのある方法がもっとあるはず
費用を掛けてやる物と、やめる物の仕訳が必要 無駄な物に保険料は使わない 医療費のお知らせはネット上で十分である
費用を掛ける事を前提とせず、年金と同様に健康保険の一元化を行い、経費の削減を進めるべき。
費用削減の為に施策を考えて、周地徹底すべきことはするべき。
費用相当の効果は理想的ではありませんが、上限を決めたり、使用目的の見直し等は常に考慮してゆく必要はあると思います。
費用対効果が、本当にあるのか、再検討して、あまり効果のない事項は取りやめ、保険料はあまり使ってほしくない。
費用対効果があるかどうか評価し、ムダを削除する。毎月の事業主のお知らせも必要なのは、重要な部分だけに限定。
費用対効果があるのかないのか分からないので、ないのであれば対策を見直すべきである。効果がないものはやめるべきである。
費用対効果があるのか疑問ことも多い。(例:健診後の保健指導の案内で個人に配布している健康レベル(?)は、特に問題のない人にまで必要ないと思う)
費用対効果があればしていき、効果がなければやめていく。
費用対効果がかなり見込めるものだけにする。
費用対効果がどれだけあるのか明確にしてほしい。費用を最小限にする努力もお願いしたい。
費用対効果が検証されているのか疑問。お金をかけてやるべき事と止めること(※)を費用効課の結果をもっと進める。
費用対効果が見えない
費用対効果が見込めない場合や速効性が見込めない場合はやめるべきである。
費用対効果が見込めなくてもやるべきである
費用対効果が見込めるのであれば、あまりお金をかけずにやって欲しい。
費用対効果が見込めるのであれば、ぜひやっていただきたいと思いますが、その中でも、より効率的に費用を抑える方法を検討していただきたいです。
費用対効果が見込めるのであれば、やるべきであると思いますが、医療費の状況のお知らせについては、関心を高めることにはあまりつながらない気がします。医療費控除の証明に使えると か、二次的な効果があるとならばあっても良いと思います…。
費用対効果が見込めるのであれば、必要最低限の費用で実行するべきである。
費用対効果が見込めるのであれば、本当に必要なことのみ取組んでもよいのでは
費用対効果が見込めるのであればやるべきだが、簡素化すべきところはたくさんあるように思われる。
費用対効果が見込めるのであればよいと思うが、それを分析しているのか？特に年1回医療費状況のお知らせは、全く効果がない。検証していないから何年も続けているんじゃないですか？
費用対効果が見込めるのであれば取組は行うべきだが、保険料は大事に使って頂きたい。
費用対効果が見込めるのであれば、お金をかけても良いが現状では無駄が多いので、民間並みに経費削減に努めるべきだと思う。
費用対効果が見込めるのは結構です。しかし、公費でまかなうべきである。
費用対効果が見込めるものだけやるべき ※保健指導や医療費の状況のお知らせはいららない
費用対効果が見込めるものはやった方が良く、極力費用を抑えるようお願いしたい。
費用対効果に応じて行なう内容を検討すべきである
費用対効果のするような工夫と努力をお願いする。
費用対効果の実績をわかりやすく示すべき。上記取組みについては、改善した方がよいものもある。細部にわたり見直す方がよい。別の取組みも探ってみるべき
費用対効果の程度をもう一度見直すべきではないでしょうか。不要なものもあると思います。
費用対効果の問題で、効果が小さいものは廃止すべき
費用対効果は見込めないで、具体的に医療費が下がれば、健診等を事前に受けられ、早期発見につながり、高額な費用とならないのでは？

費用対効果より必要な事はやる。不必要はやめる。
費用対効果を開示し取り組んでいただきたい。
費用対効果を確認する意味で一旦やめるべきである。
費用対効果を検証できていない部分があるのではないか。本末転倒になっているのでは。
費用対効果を見極めて、やめるべきものはやめる。
費用対効果を考えながら、なるべくお金もかけずにできるよう、内容を再確認し、進めてほしいと思います。
費用対効果を再度見直すべき。
費用対効果を誰が何を基準に判断するかが問題。
②の費用対効果が見込めないものや、費用削減できるものは見直しを図り、財政基盤強化に努めていただきたい。
どのくらいの費用で何をしているのか、その成果はどんなものかが分らない
どのようにそれが生かされているのか現状的にわからないので！？何も言えません。
どの程度の費用がかかっているのか不明。効果が大きければやる必要があると考える。
どの程度の費用対効果があるかわからない。あまりないようであれば取組みを行わない。
極力費用をおさえて、効果のあるもののみ実施する方がよい
効果(医療費削減)や、費用(外注、人件費等)を発表すべきではないでしょうか。
効果があるのかをきちんと検証して、効果の薄いものはやめるべき。「医療費のお知らせ」は不要。
効果があるのなら数字を示して欲しい。お知らせの配付や資格再確認事務など、事業主の労務負担が多いため。
効果がある事でも、ムダな部分を調べ出来るだけお金を使わない様にすべき。
効果がある事についても徹底してムダを削減すべき。
効果がある事のみ行うべき
効果があればやってもいいが、単に組織の肥大化になるならやるべきではない。協会自体もスリム化を
効果が見込まれるのではなく、やってみて効果があるものに限定すべき。ジェネリックを希望しても、処方してもらえない医療機関もある。
効果が見込めるのであれば、公費ですべき
効果が見込めるものは行っていただきたいがお金のかけかたも常に検証していただきたい。
効果が出ているのならばやっても良いと思うが、それが見えない。また、やり方でもお金は抑えられるはず。資料等がりっぱ過ぎる。
効果が薄いものはやめるべきである(費用対効果)
効果のある事は、継続すべきだが、効果のうすい事項に関しては見直すべきだと思う
効果の有る取組は行ない、効果の期待出来ない取組はやめるべきである。
効果の有無によって続行するかやめるかを協議していただき、費用の軽減には、常時努力して行く自覚のもとでならば良いべきというまでに達しない
効果はどの程度あるのか知りたいです。やってみて効果のないものはきっぱりやめるべきだと思います。ジェネリック医薬品の件は、かかった医療機関の方からすすめてもらわないと患者側からは言いにくいです。
効果を見ながら行っていけば良いと思います。
効率化、費用削減を見直す。
効率化等の努力をしていただいた上での必要な取組みには仕方ないと思う。
見込めないものは見直す。(費用対効果が見込めるものは良い)
見込めるものと、見込めないものを見極めるべきである
適正化に多く費用がかかっているのであれば多少おさえる事も検討頂いた方がよい所もあるかもしれない
適正化のためにかかる総費用はどのくらい使い、保険料の何%を占めているのかわからないので、こたえようがない。
適正化のための取組みは必要だとは思いますが、それに関わる取組みや書類等の経費の見直しもすべきだと思う。
適正化の効果が客観的にみて怪しい取組みもあるので、見直しが必要だと感じる。
適正化の取組みは目に見えてわかりますが、ジェネリックは1回聞かれて使用を断るとその後一切薦められない。年1医療費明細を見せられてもピンとこないどころかムダな労力と費用を使っているなと感じる。
適正化の費用/効果はいくらか
適正化をした結果を報告すべき。
あくまでも「保険料」なので、お金をかけるべきではない。最低限の費用で良いのでは。
あたり前のことだが上記に無駄な事もあると思いますが無駄な事はやめて必要であればやればよいと思います。
あまりお金をかけずに出来る事をやってほしいと思います。
あまり効果がみられないように思う。
あまり保険料を使わずに済ませるべきではないように思います。するなら当たり障りのない指導でなく、結果の出るような指導をお願いします。
あらゆる支出の適正化にむけて一層の努力が必要と思われれます。(重要な事業を賄う様に)
あるできる範囲の中でやれる事をやっていただきたい。無理をしてまでする事はできない。
ある程度自己管理も必要だし、レセプトを見ても何も感じとらない人が多いと思う。最低限度適正化に努め無駄なものは削減すべきと思われる
いづれも推しが弱いように思います。(ジェネリック医薬品の使用を進めるカードや医療費の状況のお知らせなどほとんど無感です。レセプト点検後どのような措置をしていますか?)
いろいろな取組みがないか見直していただきたい(ジェネリック促進は薬局でも促進している…等 必要なのは?)
いろいろな取組を行っている事は理解できるが、無駄に良い紙や多色印刷をしたパンフレットなどを見るともったいないと思う事が良くある。民間の事業所ではありえない贅沢な事だと思う。
お金がかかっても、それ以上の削減になるのなら良いが、けっきょく(マイナス)になるのなら不要。今の人員を有効に使って行って下さい
お金をかけずに、取り組んでいくべき
お金をかけずに取組みして下さい。
お金をかけずに取組める対策を考えるべきである。
お金をかけずに取組をしてほしい。
お金をかけた取組みも費用対効果であればやるべき
お金をかけてもやるべきものとそうでないものがあると思う。取組みを見直すことも必要ではないでしょうか。
お金をかけてやっているのだから、その結果どうなった(改善されたか)今後も続けていくものか検討していただければいいかと思います。
お金をかけないで費用対効果が見込める方法を考える。
お金をかけなくて(最少減に)やれることは、検討すべきである。(人件費など)
お金をかけるのは最低限に効率よく行って欲しい
お金を最小限に費用対効果が見込めるのが望ましい
保険料からの費用負担を少なくするために、あまり効果のない取組みは検討すべきだと思う。
保険料が上がるのは反対です。ジェネリック医薬品の促進などはもったきりか？直接指導したらどうでしょう。医療費の状況を年1回は必要な人や、一定の金額を越えた？高額な方の方にのみお知らせしたらどうでしょうか？
保険料で行うのではなく、公費負担によりすべきである。
保険料の何%をかけるか予算算出が必要。費用・効果がどれくらいあるのか明記する必要がある。
保険料の使用内訳が知りたい。各種の取組みをする為には、物と人が必要です。保険料が使われているのなら、そこにムダはないのでしょうか。
保険料の支出をおさえることを思索していただきながら行っていただきたい
保険料の内の何%くらいを使っているのかわかりたい
保険料の無駄使いが多い。医療費の適正化が遅れている。
保険料は医療費に使うべきです。①に賛成ですが周知させなければいけないと思うが、発行されている印刷物が多すぎて余剰すぎないか。企業であれば、広告料と同じです。企業は経費を抑えて仕事をしているが、天下りの役員がいる印刷会社へ無駄なお金を使わずにいいか。
保険料は医療費のみに使用すべきと思う 協会も合理化し、事業運営は公費で。
保険料や加入者資格に関する事はしっかりとお金をかけてもやって欲しいが、広告やチラシ、ポスターは極力経費をおさえるべきでは。医療費状況のお知らせもそれが領収書のかわりになるのではないので、不要だと思います。(結局、見て破棄する人が多い)
保険料を使うことは気を付けておけば以前の社会保険庁だった様な事にもなりかねない。気をつけて行って下さい。
保険料を使うにあたり、無駄はないか費用対効果が見込めるからといって、今まで通りではなく削減できる方法を検討して欲しい
保険料を使うのではなく、国の負担として取組して欲しい。
保険料を使うのではなく公費を使っては？
保険料を使うのも最低限に押さえてほしい(負担を少なくしてほしいので)
保険料を使う事はやむおえないが取組内容を検討すべきでは…
保険料を使った取組みを見直すべきだと思います。
保険料を使ってまで「医療費の状況お知らせ」は不要と考えている。
保険料を使ってまで行わなくてもよいのでは、と思われるものの中にはあるような…各種の取組みもよいとは思いますが、保険料に影響するのであれば考えてしまいます。

保険料を使っても行うべき事かどうか一つ一つを見直すべき。
保険料を使わず、上にあげた取組みを行うべき。
保険料外の予算で対応
保険料負担額を少なくできるようなムダな事があれば省いて頂くよう少しでも削減につながるよう考えて頂きたいと思います。
なるべくお金をかけずにやれば良いと思います。
なるべくお金をかけずに行ってほしい。
なるべくお金をかけずに上記の対策をしてほしい。
なるべく費用をかけずに、上記のことを行ってください。
なるべく費用をかけずに、行く。健診後のことは自己責任だと思う。「医療費の状況」は不要。必要な人はインターネットで取りよせる。
なるべく費用をかけないで効力のよい方法でやってほしい
出来るだけお金をかけないでやる方法を考えるべきである。
イ。健診に力を入れる。ロ。健保組合に比べ資格認定(扶養家族)が甘い。ハ。ケガの場合、労災か、第三者がいるか調書を取る。ニ。算定の結果不自然な差が出た場合は、さかのぼって徴収するなど。
インターネットでの健康づくり支援を、もっと普及させていくべきでは？
けんぽ、年金機構、年金事務所がわかれて使う側はメリットがない。なぜ人件費をふやしてまで別れたのか？
コストのかけ方も点検すべき
この活動で効果がでているのか、ジェネリックに替えてほしいと言ったが「あつかっていない」と窓口で言われた。患者の立場ではできない事もある。
この種の啓発活動は国が主導で行うべき
これはあまり意味がないと思う。事業所を経由して配布しているが、皆流し読みで捨てている方も多思う。ジェネリックシールは良いと思います。
これは不要だと思う
ジェネリックで下がるとは思えない、医師が使わなければ、それまで。すべて医師のさじ加減です。レセプト見て、医療機関の不正は、わかりますが、過剰診療は専門家にチェックさせるべきです。
ジェネリックなどは安かろう悪かろうではなく品質の保証を要する。
ジェネリックに関しては、被保険者側に使用をと訴えかけても限界がある。医療側に積極的に働きかけるべきだと思う。
ジェネリックに消極的な医者薬局の指導をすべきである。健康診断はしないよりはよいが、この診断で大丈夫なのかと思う。私は健康診断で「異常なし」の1ヶ月後脳梗塞で倒れた経験がある。
ジェネリックのカードなどの配布は有るが、肝心の医師・薬局の徹底をしてほしい→カードを出しても無視されました。
ジェネリックの使用を医療機関へ理解を求める。
ジェネリックの使用促進は反対…医者がもうかるだけ？ソロ商品では副作用の保証は？
ジェネリックは信用出来ない
ジェネリックの推進や、レセプトの点検等による支出の適正化は続け、健康相談etc人件費がかかる取組みは見直してほしい。
ジェネリックは病院に断られるケースもあり、むしろ協会けんぽが病院側に促進するべきではないでしょうか？
ジェネリックは薬局ですすめられます。医療費を知らせてもさほど効果はないと思います。その他についても本人の自覚の問題が多いものと思いますので保険料をつかう事はないのでは。
ジェネリックへの変更案内を、指示と受け取る方が多数居る。先発を使い良好な結果が得られているのに案内も言葉の使い方で強制になる。何よりも煽動ではないだろうか
ジェネリックを進める様に薬局窓口でも進める様に声をかけをもらおう。まだ知らない人もいますし、現状窓口で声かけされてる所を見た事がない。
ジェネリック医薬品…は、個人的に取り組みやすく、効果の出やすいことと思います。年1回の医療費の状況や、レセプトの点検…は、事後のことであり、病気にかかれば病院に行く…これは、送料が、かなりかかるものと思われれます。手元に届いても、見て終わるだけ…。何か取り組み方を変えたらどうでしょうか。
ジェネリック医薬品がふえることによって、新薬ができなくなるのでは？レセプト点検について、医療機関は患者のために、治療を行っているのだから、点検して減点するのではなく、医療点数に問題があると思います。保険は、なんのためにあるのでしょうか？
ジェネリック医薬品が全体のどのくらいの使用率となっているのか疑問。年1回の医療費状況は特に知らせる必要はないと思う。
ジェネリック医薬品で薬代の削減するのは賛成です。後のお知らせ等は、みんなあまり見ていないような気がします。
ジェネリック医薬品について、限定的でも使用を強制する時期だと思う。使用しない者については、個人負担金もしくは料率で対応しては。
ジェネリック医薬品については、医師・薬剤師に使用するよう指導していくべきである。病院で勧められた事は一度もない。
ジェネリック医薬品については、個人に促進しても限界があるので、医療機関に直接促進すべきである。保険料に限界があるのだから。
ジェネリック医薬品については、身近には浸透していない印象がある。使用を促進しても普及率が上がらないのであれば、普及させる為のよりよい方法を考えるべき。
ジェネリック医薬品については、全く同じではなく同等であって、微妙に副作用に影響するのではないのか。DRの中には首をかしげる方も居て、旧来先発から後発への推奨は丁寧にそして慎重にした方がよいのでは。“株式会社”的な考え方は？です。
ジェネリック医薬品についてはまだ安全性が浸透しておらず、また医療機関でも使用しにくいかんじ(言いづらい…)があるので、もう少し促進を促すPR等必要だと思えます。反面医療費状況の案内はあまりみんな関心をもっておらず、みるだけ見てすぐにしてる人もいるので、お金をかけている割には役に立っていないと思います。
ジェネリック医薬品についても、医療費の状況も、お知らせをもらったからと言って、意識する人は少ないのが現状です。そこにお金を費やすことがムダな気がします。
ジェネリック医薬品の使用を促進しても、薬の知識がないので医療機関で処方される薬を使用するしかないと思うので、やめるべきである。
ジェネリック医薬品の使用を促進することで、薬代削減できているので良いと思う。年1回の医療費の状況通知は、あまり関心を高める為の役には立っていないと思う。その都度領収証に本来ならば、いくらかかっていると表記してもらおう方が、意識は高まると思う。
ジェネリック医薬品の使用を促進するだけでは手ぬるい。義務化するべきである。
ジェネリック医薬品の使用促進、適正な給付、支出の適正化に努めるのは大切ですが、医療費の状況のお知らせはやめてもよいのでは…。
ジェネリック医薬品の使用促進と医療費の状況のお知らせはあまり見ていない様に思われる。
ジェネリック医薬品の使用促進など、シールをはって保険証を提示しても、医師のところまでほとんどかかたり、病院の医師に全くその気がなかったり、あまり効果が期待できません。
ジェネリック医薬品の使用促進などは医療関係者の方に対して積極的に行ってほしいです。年一回医療費の状況はやめてもよいと思います。
ジェネリック医薬品の使用促進及び医療費の状況のお知らせは、患者側は、治療の判断が出来ないので不要ない。
ジェネリック医薬品の促進は、医療機関が、おやりになればよいのではないのでしょうか。
ジェネリック医薬品の促進は必要と思えます。健診後の保健指導は必要とは思いますが人件費を使ってまで必要か？
ジェネリック医薬品の透明化、わかりづらいためと明示すべき。レセプト点検は本当に効果があるのか、見てもすぐ捨ててしまう、その費用を、料率を下げる方へまわせないのか？
ジェネリック医薬品は、医師が率先しておこなうべきである。
ジェネリック医薬品はTVCM等でも行なっているのだから協会けんぽとしてはやらなくてもいいと思う
ジェネリック医薬品はあまり効かない。よくない。
ジェネリック医薬品は医師が努めて使用するようになる。新薬開発は国単位で行うべき。
ジェネリック医薬品は中途半端。やるなら本気で取り組む必要あり。
ジェネリック医薬品は病院、薬局等からの提言扱いはないのか？ 医療費状況のお知らせは、開示希望者とかインターネット上でのお知らせにならないか。最新でも3カ月前とかだと興味なくなるため
ジェネリック医薬品への切替、加入者資格の確認、レセプト点検はやるべき。健康づくり支援・医療費のお知らせ。
ジェネリック医薬品をつかうと日薬品投与代とかなんかで点数がついてあまり薬代の削減にはなっていない。シール配付等に費用をかけるのではなく、もっと他のことにお金をかけてほしい。
ジェネリック医薬品をもっと普及させるべきであり、その努力をすべき
ジェネリック医薬品を促進するのであれば、支払い前に薬を出してもらった際にジェネリックと通常のがあるが、どちらにしますかと聞いて頂ければ、使いやすくなると思います。
ジェネリック医薬品使用の促進活動はやるべきだと思います。医療費の状況は必要な方のみお知らせして良いのではないのでしょうか？
ジェネリック医薬品使用は病院によって取扱っていないとか対応できないとか言われ利用しにくい。年一回の医療費のお知らせは医療機関レセプトと重なるのだから全部を記載して医療費控除等に利用できるかがないと思いません
ジェネリック医薬品使用促進と医療費のお知らせは、PR方法や必要とする者のみネットで確認出来るように…
ジェネリック医薬品の利用促進は必要と思う。上記1・2については不要かと。2は殆んど利用価値がなく、すぐ廃棄されている。
ジェネリック使用促進の他は効果が薄いと思う。
ジェネリック品の促進医療材料や医療機器の価格適正化保険金目当の入院対策
ジェネリック薬については、医療機関薬局も、もっと積極的に使用をすすめるべきと思う。医療機関等で、両方あるがどっちが良いかと問われた事はない。
ジェネリック薬品の外は必要、もしくは費用対効果が見込めると思えないのでやめるべき。
ジェネリック促進以外には必要、もしくは費用対効果が見込めると思えないのでやめるべき。
患者としては、ジェネリックと思いきや先生に相談しますが先生の方では今まで通りの薬が良いとの返事がままあります。ジェネリックの薬もほとんど、同じ薬・添加物、等に出来るだけ近づけてもらえると、その方向に向って行くようになると思いますが…むしろ難しい問題です。
医療費のお知らせの必要性を感じられない。必要な方だけ取りよせる方法でよいのでは？
医療費のお知らせは不要に思えます。この通知作成に相当な費用が出ているのではないのでしょうか。
医療費のお知らせ等の印刷代、送料のムダなものも多いので見直してほしい。(希望する者のみに送るようにすればいいのでは？)
医療費の状況のお知らせは必要ない。
医療費の状況のお知らせは必要でしょうか？あまり意味のない事かなと思いました。
医療費の状況の書面発行は不要である。医療費控除(年末調整)にもリンクしておらず発送費がムダ。

医療費の状況のお知らせはあまり必要ないと思う。周囲を見ても「これはムダだよ」という声をよく耳にします

医療費のお知らせについては、むだと考えます。それ以外は必要と感じます。

医療費のお知らせについては確定申告(医療費還付申告)に利用出来るものにしてほしい。お知らせだけでは“ムダ”だと思う。

医療費のお知らせについては従業員はあまり見ていない(内容に関心がない)ようであるので、やめてもよいと思う。

医療費のお知らせについて不必要だと考えます。(選択性にし必要な方だけにお知らせをする)この部分の費用を医療費に回していただければと思います。

医療費のお知らせに関しては、不要だと感じる。(使用した事が分かるだけで、関心は高まらない。)またジェネリック医薬品に関しては、医師の協力が不可決だと感じる。その他については、②同様の考えである。

医療費のお知らせは、確認せずに捨ててる人が多いので、配布はやめたほうが良いと思う。すでに退職している人のものを送付されても困る。送料のムダ。

医療費のお知らせは、特に必要でない

医療費のお知らせは、無駄な支出、作業と思われる(トータルでコスト高)のでやめるべきである。

医療費のお知らせはいらぬ。皆みてもすぐ捨ててしまう。紙・郵送代のムダ。

医療費のお知らせはムダです。従業員に配布していますが、ほとんど関心もなく捨てられている。

医療費のお知らせは必要ない。紙のムダ。

医療費のお知らせは必要ないと思う。(見ている人はほとんどいない)

医療費のお知らせは必要ないと思う。何かの証明書として使えるならあっても良い。

医療費のお知らせは不要だと思う。

医療費のお知らせは不要に思う レセプトの点検等は更に厳しくチェックしてはどうか

医療費のお知らせは無駄だと思う。

医療費のお知らせや冊誌などにお金をかけるのはむだでは。

医療費のお知らせをきっちり見ている人は、まわりには誰も居ません。病院へは必要があって行くのだから、それを見たところで自粛しようなどという人は居ない気がします。やっても無意味ではないでしょうか？

医療費のお知らせをもう少し簡易なものにしてほしい

医療費のお知らせを受け取っても関心を持つ人が少なく貴重な保険料を使ってまで発送する必要はないと思う。

医療費の高い者のみ状況を知らせる。

医療費の状況お知らせでは、あまり関心が持てない。医療費使用の番付表を作成して見ては？例あなた1000人中1番横綱です。

医療費の状況お知らせなど、実際は不要との声が多々ある。レセプトの点検等は大事だが、無駄は省くべきである。健康づくりの支援でとどまらず、向上にむけての活動を期待する。

医療費の状況お知らせは、ハガキ等を利用して、簡素化を図るべき。

医療費の状況お知らせは、関心がない人が多い気がする。メタボなどの取り組みは予算をかけているわりに成果がないのでは。

医療費の状況について、1年分まとめて送って頂いても覚えていないという意見がありました。医療機関のレセプトの点検を効率よく行って欲しいと思います

医療費の状況については、効果が薄いように感じます。健康は自身で気をつける意識向上に結びつく他の方法が他にもあるような気がします。

医療費の状況については社内では不評。ムダとの意見が多い。その他の4項目は良いと思う。

医療費の状況のお知らせは個人で詳細等の把握をすれば済む事であり、あまり必要でない。加入者資格についての再確認等…資格取得のチェックが甘い。事業主の確認だけで扶養者になれるので、誰でもなれるのではないか。

医療費の状況のお知らせは必要でないと思う。これは色々な会社で良く聞くことです。他の事にその分かけてはと思います。

医療費の状況のお知らせは必要ないと思う。関心を高めるなら、財政状況、このまま行くと、どうなるのかなど現状をもっと知ってもらったほうが先だと思う。加入者1人1人の意識をかえること。

医療費の状況のお知らせは必要ないと思う。自分自身把握している。かなりコストがかかっていると思うので、大して注目していない。

医療費の状況のお知らせは必要のある人だけで良いと思う。

医療費の状況のお知らせは不要

医療費の状況のお知らせは不要と思います。

医療費の状況のお知らせは不要と思います。高額医療控除申請の領収証になるのであればまだしも、これは不要と思います。当社ではみんながそう申してます！

医療費の状況のかわりに医療費の申告書の方が確定申告の際、利用出来ると思う。

医療費の状況のお知らせがどれだけ役立っているか、多少疑問に思う。

医療費の状況の連絡は効果が薄く不要と思う。

医療費の状況は、見てもあまり意味がないと思います。又、高齢者はその案内でその金額を支払うのかと感違いする方も多く、申し訳ないのですが、処分する事もあります。

医療費の状況は、殆どの方が見ていないと思う。経費のムダだと思う。

医療費の状況はあまり効果がないように思う。(見てすぐ破棄する人が多い)

医療費の状況は効果がないのでは？

医療費の状況は不安

医療費の状況や、ジェネリックのカードは、不必要だと思う。加入資格の再確認は必要だと思う。

医療費の状況やレセプトは受診後、日数が経過してからの送付で、意味が薄いと思います。

医療費の状況のお知らせは意味がないと思う。確定申告に使える資料ならいいが、ただ実際これだけ使っているが皆さん無関心に思われます。

医療費の状況のお知らせも聞かなくてもいいかと思われたいです。保険料を使って行われて効果はあるのでしょうか。

医療費の状況のお知らせでもらっても、削減につながっているかわからないが、その為の経費の方が高くなっていたら意味がない様に感じる。(パッと見て捨ててしまう人が多いから)

医療費の状況を通じて、ほとんどの人が見ないか、見てもそれで考える人は少数だと思えます。この部分は廃止にしても良いのではないかと考えます。全会員に通知する費用は相当額であろうかと思えます。

医療費の状況知らせは不用。受診時、支払時に計算書があるので確認出来る。※経費削減

医療費の状況通知は、通院後忘れた頃に届くので、あまり意味がないし、その分の経費が逆にもったいないと思う。

医療費の状況通知は効果が期待できないです。

医療費の状況通知は効果の見直しをした方が良い。それ以外は必要である。

医療費の状況通知は事ム量が多くなると思われる。弱者の受診控えにつながる恐れもあり、この業ムは不要と考える。

医療費の状況等の通信費などのむだはかなりの量であると思うので、見直しが必要だと思う。良い取組みだけを残すべき。

医療費の通知はお金もかかり、費用対効果から中止してもよい。

医療費状況のお知らせについて⇒受診したすべての医療機関が掲載されていないこともあり、不要に思う。

医療費状況のお知らせは、あまり効果がないと思う。ネットなどで確認出来るようにしたらどうでしょうか？

医療費状況のお知らせは、配っても関心を持ち見てある様に思えません。上記の件、全てとは言わなくても費用をかけて発行しなくてもよいものもあると思います。

医療費状況のお知らせは、聞きたい人だけが、問い合わせられるTELやインターネット等を周知させる事で良いのでは…。経費削減のため。

医療費状況のお知らせはなくても良いのでは。

医療費状況のお知らせは医療費の適正化に必ずしもつながっていない。止めても良いと思う。

医療費状況のお知らせは経費がかかるので廃止したほうが良い

医療費状況のお知らせは必要ない

医療費状況のお知らせは不要。

医療費状況のお知らせは必要なし、それ以外は必要

医療費状況はやらなくてかまわないのではないかと。悪くないのに病院へ行っている人もいと思うが予防のためになっているので、良いのではないかと

医療費状況は必要度が少ないと思います

医療費の状況～けんぽさんの思いはわかるけど、払う段階で「あ～3割負担」はわかっているから必要なし。たのんでない…ゴメンナサイ！

通知はやめるべき

60才までは(働く世代)必要な時のみ、病院にかかる傾向があるので、医療費の状況のお知らせはあまり必要ないと思います。

年1回の医療費お知らせは不要ではないか。
年1回の医療費のお知らせ、いらなと思います。(印刷代、切手代のムダです)お知らせがくると具合が悪くても病院へ行くことがいけないののように思います。
年1回の医療費のお知らせは、ムダである。現役の被保険者は皆忙しく、必要以上に医者にかかる事ができる人は少数である。お知らせは、余分な経費を使うだけ。
年1回の医療費のお知らせは、関心を高める効果に疑問を持っていました。係わる費用でより効果の期待のもてる方法を模索すべきと考えます。
年1回の医療費のお知らせは、必要ないと思います。
年1回の医療費のお知らせは、必要ないのではないかと。会社に届くので、取扱いが大変(個人情報重要度がとても高い為)・社員を見てみても、あまり関心がないように見られるから。
年1回の医療費のお知らせは“1年間にこれ位使っているんだ”と実感できていいと思いますが、その他は“お金をかけてやること?”と思うこともあります。
年1回の医療費のお知らせは特に必要を感じない。
年1回の医療費のお知らせは必要ないのではないかと！
年1回の医療費のお知らせは余計な手間がかかるだけで不要と思います。皆そう言ってます。
年1回の医療費の状況…などはいらないのでは！
年1回の医療費の状況お知らせは、あまり関心を持っている人がいないのでなくとも良いと思う。
年1回の医療費の状況のお知らせは大半の人達が余り関心がない様に思われるし、又印刷面、郵便代にしても、コストがすごく掛るのでと思います。又どれだけの効果があるのか判りません止めて頂きたい。その分保険料に廻してもらいたい。
年1回の医療費の状況お知らせは必要ないと思う
年1回の医療費の状況のお知らせは必要ないと思われる。(これだけでは健康や医療について関心が高まるとは思えない) ジェネリックも周知が進み、これ以上の広告は不要と思われる。
年1回の医療費の状況のお知らせは、加入者資格の再確認、レセプトの点検をお願いしたいが保健指導等プライベート・ブライパシーに入る込む事は希望者のみとかにしてやめられるものはやめて費用を削減すべき。ジェネリックについても年よりになるとこだわりをもってかえたくないという人もいるので促進活動までは費用をかけなくてもいいと思います。とにかく取り組みについては再検討して費用を削減してほしい
年1回の医療費の状況のお知らせに関心を持って見ている人もいるかもしれませんが、大分前の通院状況を見て「行った様な気がする」程度に思っている人もいると思うので、無くてもいい様な気がします。どうしても欲しい人は申請して送ってもらう方が制限されると思います。
年1回の医療費の状況のお知らせは、じっくり見ている方を聞かないので必要ないのではないかと
年1回の医療費の状況のお知らせは、見ずに捨てる人が多く意味がないと思う。他はやるべきと思う。
年1回の医療費の状況のお知らせは、役に立ってないと思う。
年1回の医療費の状況のお知らせは、印刷代等もムダ！ 保健料率変更の際の印刷物も何度も来るのもムダ！
年1回の医療費の状況のお知らせはその郵送費等ももったいない気がする。
年1回の医療費の状況のお知らせは必要ないと思います。必要なものもあるけどどちらともいえない。
年1回の医療費の状況のお知らせは不要。興味がない人はそのまま見ない人もいる。ネットで見れるのならわざわざ保険料を使って紙にしなくてもよい。
年1回の医療費の状況のお知らせは不要だと思えます。
年1回の医療費の状況の件は、今後ネットで配信し、各自が直接アクセスできるようにして経費削減できるのではないのでしょうか？
年1回の医療費の状況はPCで見られるようなIT化をすべきだと思います。経費がもったいない。もらっても捨ててしまう人が多いので。
年1回の医療費の状況は分かるが、その医療費が何にいくら支払われたのか分かるのと良い。(薬代なのか、処置代なのか、支出の適正化が不明瞭)
年1回の医療費の状況報告は必要ないのでは…
年1回の医療費状況のお知らせは、一定金額を超えた人だけで良いと思います。
年1回の医療費状況はムダ。
年1回の医療費通知は不要の声が多いが、確定申告で使用できれば、無駄にはならないと思う。
年1回医療費の状況のお知らせはあまり必要ではないと思う。
年1回医療費の状況のお知らせはムダな支出と思う。病院に行くなどと言っていることで、もっと他に経費をあてるべきと思う
年1回医療費の状況は誰もソッポをむいている無駄な費用
年1回医療費状況のお知らせは、希望する人だけに発送すると良い。医療費適正化のために取組については、内容を検討して不要なものは止めてほしい。
年1回医療費状況通知は必要な方だけに送付しても良いのではと思います。
年に1回の医療費の状況は関心をもって見る人がいないのでやめたほうがよいと思います。
年に1回の医療費の状況は必要ないと思います。(医療費を病院で払う時点で本人はある程度健康や医療費について考えるから)それにかかる経費は億単位になるので、大変もったいないです。
年に1回医療費の状況を知らせてくれるが、通信費がかかる為、必要な人にだけ送れる制度を考えてはどうでしょうか。(経費の削減)
年一回の医療状況の知らせはいらない
年一回の医療費のお知らせについてどれ程の人が医療費の適正化に考えをおいて見ているかと思うととても疑問である。このお知らせも通信経ヒ等を考えてみるとさ程効果がある様には思えない。かなり逆のぼっての自己の診料反省する姿勢が育つ様にはとても考え難い…。全ての通病物についてよりインパクトにたけ回数より質的に高いお知らせであるべきである。
年一回医療費の状況のお知らせは必要ないか？
上記取組の中で、「年1回の医療費状況のお知らせ」は不要と思われる。各医療費の領収書はその都度貰い保管すれば充分と思われる。希望者に対してのみ、有料等で実施してもよいかと史料される。
特に「医療費のお知らせ」は効果的でなく、もったいないと思います。
内容によります。医療費のお知らせは高額の人だけでいいと思います。
すべてをやめるべきとは思わないが、年1回の医療費の状況のお知らせは、紙・印刷代・郵送料と経費もかかると思うので、経費のかからない方法があれば検討すべきだと思います。
すべてをやめるのではなく、必要なことだけ実行してほしい。例えば医療費の状況は知らせなくても効果はないと思うのですが。
すべての無駄をなくすること 保健指導、ジェネリック等の支援・促進にも、もう少しスリキリさせる。
スリムにできる所はスリムにし、自己責任において健康管理をすべきである。
スリム化を計り、費用削減すべき
その活動にかかった費用の割合と、活動によってどの程度の効果があったのかを具体的なデータで発表するとよいと思います。
たしかに努力はしてもらっていると思いますが、まだまだ足りないところがあるのではないのでしょうか！ 保険料をつかうのならもっと有効につかってほしい。お役所仕事ではなく一人一人の気持ちになってもらいたいです。
できるだけ、費用を減らすべき
テレビ等をもっと積極的に利用して、保険料等の問題をもっと、全体的に広報する方が、効果的になるのではないかと。
TV、ラジオ等で医療費本体の問題として訴えるべき(全国の保険者が共同)※県レベルでは効果が限定的
どうしても行わないといけない事であればやるべきかもしれませんが、保健指導員を使ったり、その為に不必要な人員は削減すべきだと思います(上記①③)など。
どれも大事なことだと思いますが、その中でも、できるだけ保険料等の占める割合を減らしてほしいです。
なかなか、難しい事で、支援などが個々に100%いかされていけばいいのですが…
メタバや禁煙についての指導は、効果にギモンがあるのでやめた方がいいのでは？
もう少し高率的にわかりやすく加入者に広めるべきである
もしも出来るようであれば…医療費の状況はHPでの閲覧が出来ればペーパーレスになり、便利になると思われます。
やめても良いものもあるのでは効果のないもの、むだなものはやめた方がよい。たくさん書類やカタログ、パンフレットが郵送されるが、知りたい時はインターネットで調べられるので少し減らしたらと思う。
やめるべきとまで言わないが、保険料の使用は最少限におさえてほしい。
やると決まらずずっとやっつけていくのではなく、常に見直すべきジェネリック促進しても、すすめない医者もいます。
やるのは良いが、用紙や、封筒など、もっと違う、簡素なやり方はないのだろうか。お金がかかっているように思えてならない。
レセプトの点検、予防医療等効率よく効果を出していただきたい。しなくて、あまり効果のない仕事は見直していただきたい。
レセプトの点検には多くの人手をかけていると考えるので、作業している人でレセプトの点検にやりがいを持って業務に取り組んでいる人はいるのでしょうか？この様な作業は後ろ向きの作業は機械化やシステムそのものを改善していかないと効率化は計れないと思う。
レセプトの点検は多分機能しておらず形式的にすぎず、点検能力はないと思われる。同じ仲間の医師が片手間に出来るはずない。
レセプトの点検は余り意味がないのではないかと。具合が悪い時しか医療機関は利用しないので、必要なだけはどうしようもないのではないのでしょうか。
レセプトの点検も大事だと思いますが、入口である医療の現場を調査し、不要な検査が行われていないか等の検証が必要だと思ふ。これまでの取組みで一定の成果が出ているものがあれば終了し、保険料・医療費の削減のために必要な取組みを実施して欲しい。
レセプトの点検強化と徹底
レセプトの用紙代、手間の時間不要。点検で発行する目的かもしれないがもらった人は、見て終り「これだけかかったけど仕方ない」位に思っている。レセプトを活用している人がいるのか？
レセプトはやめるべき(経費のムダと思われる)ジェネリックの使用一つに統一して欲しい
レセプトは必要ない。
レセプトは本人へ渡さなくてもいいと思う。本人は、領収書ももらっている自分で確認していると思う。
レセプトミスの医療機関には、罰金をとるべき
レセプトを見て意味がわからない。病院にかからない人には無意味。このまま続けるなら必要ない。時間と紙のムダ。他に工夫するところはたくさんあるはず。

レセプトを個人に送るのはいらない。ジェネリックがまだいきわたってない。
レセプト確認が以前より多くなったと思う。事務料や郵送料等に負担額が増えているのではないのでは？それまでして、効果があるのだろうか？医療機関でそれぞれ点検するのでよいのではと思われる。
レセプト点検は必要だが、その他の取り組みは、お金を使ってまで行うことではない。
レセプト点検を厳しく、その他の取り組みは必要なし
レセプト点検等、やるべき事はやって頂いて、不必要なDMや資格の再確認の方法(電話のみにするとか)の見直しをするべきだと思います。
請求書(レセプト)を点検する
以前届出も一ヶ所で済んでいたのにあまりに分散され手続にこまります
医師が処方する薬の種類が点数を上げる為、必要以上に出される。結果、医療費が高くなっている、適正化を図るべきである。
医者 薬屋さんにジェネリックを促進させる事と、医者全員の価値の同じが悪い、良い医者は高く、普通は安くする
医薬品の告知や医療費の状況のお知らせなど、必要とは思いますが紙媒体からWEBへ移行するなどして一層の経費削減が必要。
医療が適正に行われ、かつ支出が適正に行われているか
医療とスポーツの関係について積極的な取り組みが必要
医療と国民を対立させるかのようなええがき出さないようお願いします。
医療の明細の発行や不要なパンフレットの発行など不要な支出が節約できるのではないかと
医療機関が薬を出しすぎていると思います。使用しないで残っている薬が沢山あります。
医療機関のお知らせは、支出の抑制には効果とは思えない。
医療機関のチェックを最優先するべきである。
医療機関の請求書の点検も大事である事はわかるのですが個人発送まで必要かどうか？その経費がもったいない気がします。
医療機関の不正請求の調査をきびしく。
医療機関よりも調剤薬局の点数を下げるべきと思う。他医療機関以外の医療保険を使う部分をもっと削減すべき。本当に必要な医療は、高くてもやむを得ない
医療機関自体が投薬等の適正化を図る。
医療現場の現状把握と実際の取り組みが本当に適正か見極えてからの問題である。全てが中途半端な気がする。
医療費から出す物ではないと思うが、指導、周知は必要な事だ。
医療費が少くなる生活の仕方の提案に力を入れることが大切だと思う。
医療費にかかるコスト削減を！医療費の抑制と不正請求には高いペナルティを加すべき！
医療費の見直し本当に適正なのか
医療費の削減効果があるものは費用をかけてもやるべき。但し、効果のないものは見直すべきだと思います。
医療費の削減効果が費用の何倍か。また、その規模で考え方は変わります。(100万の費用で1000万の効果(10倍、900万削減)1000万の費用で3000万の効果(3倍、2000万削減)どっちを選びますか？
医療費の適正化とはどのような事なのでしょう？
医療費の適正化について、被保険者としての立場から、何が適正なのか協会けんぽの具体的な方策・取組みについて伝わってこない。
医療費の適正化のために真に必要な取組みを再検討願いたい。
医療費の適正化の努力は更にすべきである。但し、多額の費用をかけてやるというものではない。
医療費削減につながっているかを確認する必要
医療費適正化に反映されるか分からない。
医療費適正化のために行う取組みの全ては、国庫よりの支出により行うべきである。
医療費適正化のための人員が正しく配置されているのか、不要な人員や組織がないのか省力化の施策がなされているのか明示して欲しい
医療費適正化の呼びかけはやっていただきたいが、保険料を使うのは控え目にもお願いしたい。
医療費適正化の取組みは必要であるが、このままでは将来は破たんする。目的税を実施すべき。
医療費適正化の取組みは必要と考えるが、どの程度費用を掛けているか不明であり、また、現状でどの程度の費用対効果であるのか不明なことから、いずれとも回答し難い。
医療費適正化の内容を少々変えては？(他にもいろいろあると思いますが、いらないと思う事もあるので)
医療費適正化への取組みは、保険料ではなく公費を使って行ってほしい。
医療保険者ごとに医療費適正化を行うことも必要であるが、医療保険全体について厳しい基準、認定等を含め、該当しない場合の救済措置は国が一元化すべきである。
医療保険者全体で取組むべき
一つにしほって集中的にやるべきです。
一つ一つにどのくらいの費用を使っているのかは分かりませんが今必要なものを最優先するなど、少しでも削減を行う。(レセプト点検や、資格の確認等)
一項目づつに1つはなっ得出来るもの実際にそれが本当に役に立っているかと思うと、あまり思えないように思う。我社でも見てすぐづかゴにポイされている現実ではいつも切手代もったいないと思っている。
一定の制限を設けて(金額等)の事業展開を希望
一度止めてみて、費用対効果のチェックをしてみてもどうか。施策だおれになっているものも多いと思う。
加入者資格、レセプトのチェックのみ行って欲しい
加入者資格、レセプト点検は必要だが、年1回の医療費状況のお知らせは不要と考えます。
加入者資格の確認は毎年でなくてもいいのでは？
加入者資格の再確認を行うために、保険料を使うのはいかにがなものか。協会けんぽで負担すべき。
加入者資格の再確認作業とレセプトの点検は必要であり、それ以外は不要。健康相談・指導は健診医療機関であるのが責務である。
加入者資格確認や、レセプト点検など〃〃やらなければいけないこと、無駄使いでは？と思えるものと、両方あるので、ふるい分けが必要と思う。
加入者資格再確認のみ希望します。
加入者資格等の再確認、医療費の状況のお知らせはいいと思うが、ジェネリック医薬品の使用は、会社にはではなく、医療機関へ使用の促進を促すべきと思う。
延命医療は法的な問題があるが患者の(本人意思・家族)の確認が大事
何のため(医療費適正化)に行っているのか。レセプトなどを受け取る被保険者が理解してない(分かりにくい)
何をを行うにしても目的を明確にして行ってほしい。そうでなければ、費用をかけてまで行う必要はないと思う。
何故、医療機関で、ジェネリック医薬品の紹介がしてもらえない病院が多いのでしょうか？という質問を受けることがあります。
過剰な医薬品投与を防ぎ、適正な投薬を望むこと。
過剰な投薬をチェックするべきだと思います
過度の取組みは必要でなく、費用対効果を見てバランスを取ること。
回数へらす
改善策がある内容のみ送付アドバイスし、レセプトをもらっても通院の抑制等にはつながりにくいと思います。
皆から集めた貴重な保険料という事を常に念頭においてその中で協会けんぽが最善の方法で運営していく事を希望致します。
外部への委託はダメ！不透明な関係を疑う
各種チェック機能は別
確実な対効果があるものはその取組を継続し、かかる費用に対して効果の少ないものは取り止める。(過剰ないいねいさが気になる事がある。)
学生以上の扶養者をもっと厳しく見直す様にしたら良い(配偶者、大学卒業以上で親の扶養になっている子供等)
活動について理解できるが、真に必要な事のみを行い経費削減に努めてほしい。
患者に削減をもとめる事より病院の方へジェネリックを使用するよう働きかけるべき
基本的には費用対効果が見込めるのであればするべきだが、健保組合、他の健保制度とも利害が共通する事項であり、健保組合、他の制度と連携して行うか、国の事業として行うことで効率を上げるべき。
給付や支出の適正化により努めるべき。健康づくりの支援などは個人の判断に任せるべきで、協会けんぽが力を入れるのは違うと思う。財政が苦しいのであれば、ムダな啓発を止めて、資格の再確認や給付、支出の適正化に全力を注ぐべき。
旧社会保険関係の書類や案内は他とひびけて多すぎる。経費の使い過ぎ。ダラダラと資料をもらっても効果があるとは思えない。情報が多すぎてめんどくさくなる。
協会けんぽ、健保組合、国家公務員の区別でそれぞれの扱いがちがうかというたとえば医者がジェネリック薬品をすすめるのに加入団体によってちがうかと言うちがわくないと思います。これは協会ですめるべきものとは思わないのですが
協会けんぽがやることではなく、国がやるべきことなのでは？(個人個人の健康に対する関心をもっとつよめるべきですね)
協会けんぽだけの取組みだけではなく病院、薬局もジェネリック医薬品などをすすめ、協力するべきだと思います。
協会けんぽの事務効率を高め、保険料からの支出を抑えるべき。
協会けんぽの取組みの見直しを行い、業務縮小や費用削減できる部分の検討も必要ではないかと思う
協会けんぽの件数費を見直し無駄なコストを削減すべし。
協会けんぽも保険料を使ってまでするべき事とそうではない事をもう一度よく考えてほしい。
協会の皆さまが、一生懸命されているし大変だと思います。患者に任すべきだと思います。
強制保険は負担を少なくすべし、任意保険は本人希望

経費がどれくらいかかっているのかわかりませんが、上記内容では医療費の減少につながっているか疑問に思います。
経費をおさえて欲しい
経費をおさえる事、効率化を図る事を考えて欲しい。複雑すぎると思われる。
経費削減とハシゴ医療を防ぐなど、経費拡大を抑える取り組みが必要である。
経費削減の為、医療費の状況のお知らせは、ネット紹介や被保険者より請求があった場合にのみ、通知するのが望ましいと思います。
健康づくりの活動は必要ですが、医療費通知はむだであると思います。
健康づくり支援と医療費のお知らせはやめるべき。
健康に気をつけて、努力している人には健康保険の戻しがあってもいいのでは。保険を掛けるばかりでは不公平。健康保険を使わなかった人には健康努力賞はどうでしょうか。
健康に対する広報が多すぎると思う。集約して保存版になるようなものを発行し予算の縮小を図るべきである。
健康管理に取り組みず、健康保険受診が増大している事業所又は被保険者の保険料増や窓口負担金増の罰則規定が必要では。
健康相談については掛り付けの病院へ行くので削っていいと思う。ジェネリックの医薬品については病院側で考える事ではないかと思う。以下3点については今後も続けるべきだと思う。
健康相談は希望者のみにし、一率適用は不要
健康相談や健康づくりの支援は、予防につながると思うので実施した方がいい。医療費のお知らせは、そこから何か生まれるとは思えないので無駄だと思う。ジェネリックについては、医療機関で処方箋を出すので、医療機関への働きかけが大切ではと思う
健診を受ける加入者はどれくらいの割合なのか？指導や相談の効果は出ているのでしょうか？費用対効果がないのであれば見直す事も必要ではないか。
健診後については本人の自己責任において自己管理すべき。相談はかかりつけ医師でも十分。保健師の方に無駄なことをさせたくない。
健診後の指導は必要なジェネリック医薬品の促進は薬局でやるべき。医療費の状況のお知らせは関心を高める為であれば金額を決めて高額利用者に限定し、注意を促してほしい。点検してもわからないしおかしな点が不明。
健診後の指導や相談は、あまり必要がないように思います。都合が悪ければ、自分で病院に行っているように見えるので、莫大な費用を使ってまでする必要がないのでは？
健診後の指導より、受診率のアップを考えるべきでは。
健診後の保健指導、請求書を点検することはなくともよいと思う。
健診後の保健指導・相談等…これは各市町村が力を入れて取り組んでいる事だと思われませんが必要です？
健診後の保健指導は、やらなくても良いと考えます。健康相談については、賛成です。その他も取組みとして良いと考えます。
健診後の保健指導は、行う必要がないと思う。企業にいれば企業ごとに産業医がいるので、産業医への相談等でまにあうのでは？
健診後の保健指導は希望者のみで良いのでは…
健診後の保健指導は必要なし。当りまえの事しか言わないため。健康相談は希望者のみ個人負担で、年1回の医療費の状況のお知らせは必要なし。
健診後の保健指導や健康相談については必要でないと思う。医療費の状況についても確定申告などに利用できないのであれば、あまり意味がないと思う。
健診後の保健指導や健康相談は、健診の結果で病院へ行っているようなので、会社で個別に健康相談をしなくてもいいのではないかと思います。
健診後の保健指導や健康相談やジェネリック医薬品の使用の促進は、よい取り組みだと思うが、医療費の通知については、あまり効果的とは考えられない。
健診後の保健指導や健康相談及び医療費通知は必要ない。費用対効果の観点からもやめるべきである。
健診後の保健指導や相談について、各々担当があるようで、各職場にそれぞれ数名の方が来て下さっており、大変感謝しております。ただ不在だったりした場合に何度も手数をかける事があり指導方法の見直しが必要かと思えます。
健診後の保健指導や相談は必要ない。
健診後の保健指導や年1回の医療費のお知らせなどは必要ないと思います。
健診後の保健指導よりも予防医療に力を入れた方がいいのではないかと思います
健診後の保健指導及び健康相談は不要。
健診後の保健指導人の費用対効果は無いと思うのでやめたらいいがその他のジェネリック医薬品の促進と医療機関からのレセプトの点検は現状も見に行つて小さな病院や整体・診療所もきつちりみてほしい
健診後の保健指導等は必要がないと思います。
健診後の保険相談は、今の対応の仕方を見ると効果が無いと思うので即止めた方がいい。
健診後は病院でも指導を受けるので不安であると考えます。自分の健康管理は自らが行うものだと思う。
保健指導、健康相談は、無駄だと思います。指導後もかわっていません！
保健指導、健康相談は必要なし
保健指導・相談は必要ない。
保健指導などは義務意識が強いので効果は少ないと思われる。医療費の状況報告も同様。
保健指導の声かけを社内でしても、実際仕事があり、平日に受けることは難しい。個人的なことでもあるので、健診後すんなり指導が行えるようなシステムを作ってはどうか？例えば、再検後にすぐ保健指導を行うとか(何回も来て頂く又、行く間隔がはぶけると思う)
保健指導の対象者をもう少し減らす事が(レベルをゆるめる事)できないでしょうか
保健指導はもっとやるべき。他は費用対効果は疑問
保健指導は不要(すべてムダでないが)
保健指導やジェネリックの促進等はいいいのですが、医療費のお知らせは効果がないように思うのでやらずとも。
保健指導や健康相談、請求書の点検は、続けていただきたいと思いますが、医療費のお知らせは、お金と手間もかかっている割には効果が少ないと思われるので、やめてもいいのではと考えます。あとの項目については、内容と金額に応じてと思います。
保健指導や健康相談がどの程度あるのか疑問ジェネリックの使用促進は協会けんぽがする事なのでしょうか？厚労省ではないのでしょうか？いまいわかりません。
保健指導や健康相談などは、各市町村の福祉課がおもにやっているの、本当に効果のあるものを選別して、やってほしい。医療費状況にしても中身を見ている人はほとんどないと思うし、あまり感心がないと思います
保健指導や健康相談は、やめてもいいのでは。医療費の状況も希望者だけに
保健指導や健康相談は必要ない。だから赤字になるのだ。
保健指導や健康相談は不要
保健指導や健康相談を通し、更に医療費の削減を意識するよう制度づくりをしていくべきです
保健指導等はあまり効果がないように思う。減らせるところは減らすべきと思う。医療費の状況も？
保健指導、相談等、現に治療中の方はかかりつけの医師等から助言をもらっているため利用者は少ない。医療のお知らせ等もそれほど効果はみられない
健保の仕組みが複雑。簡略化し、ムダや重なっている部分をスッキリして経費を削減
健保協会からジェネリック促進カラーチラシやシール等送られてくるが、それは必要ないのでは。上記取組みは、必要とは思いますが、お金をかければ良いという考えのよう。もう少し予算削減してできないものか。
見かけ取りする医者が多くいる(特に歯医者)ジェネリック品がある場合はすべて切り替えるべき薬価を計算する人の質が低すぎ、まちがいが多い。
見直しを行った方が少しでも経費は浮くのではないのでしょうか
見直しの箇所あり
現在、医療費適正化のために行っている取組みが、効果があるのであれば続けたいと思うが、そうでなければ、今一度検討すべきだと思う。
現在の取組などについては、日々、検討されながら実施されていると思いますが、真剣に取り組んでいただきたいと思えます。その為には加入者や企業の支援も必要ですし、場合によっては費用をかけることも必要だと思います。
現在の取組に、ムダがないか"事業仕訳"を行い必要の重要性に疑問があれば見直すことの検討を行つてもいいのではないかと
現在の問題は医者側のもうけ主義が問題。薬づけの感あり。
現在実施されている事は大事だと思うが全て後向きだと思う。前向き施策、健康になる、維持できる、趣味の会(スポーツ ウォーキング)の推進を！
現在点では判断がつかせせん
現状で良い
現状のままでもよいが、定期的に見直しはするべき
現状の取組みを第三者機関にて再度見直しを
現状の対策方法では、活動内容の主旨が伝わっておらず効果に期待がもてないので対策方法、内容の見直しを希望する。
個々人の医療費状況が管理できるのであれば、ある一定額以下の利用者について何らかのインセンティブを与える等、健康管理へのメリットを検討されたい。
個人の理解度の差があるから、電話対応や面接の方が、わかりやすいのでは…
個人を対象とした取組みならばよいが、周知目的での印刷物の配布は不要だと思う。医療費の状況についても、2〜3か月前程度までならよいが(長くても半年)、1年も前の医療費についてお知らせがあっても、あまり関心はないのではないかと。
誇大広告(一番時間支払大)を少なく
公費からみてほしい。
公費をやってもよいと思えます。
公費で行う
厚生労働省の仕事では？
厚生労働省だけでなく、他省庁にまたがる監査の第三者機関を国は考えるべき。
広告費などはなるべくかからないようにして上記のような費用対効果に努めて欲しいと思えます

広報活動が足りない。知らない人が多すぎる。
広報誌や協会の会はやめた方がいいと思います。上記の取組についても紙面上だけのお知らせなら、意味はなく経費のむだ使いだと思います。医療費のお知らせを例にとると、状況を知ったところで、医療費をへらそうと思う人はいないと思います。
行うべきことをしっかり検討し、保険料の使い方を納得できるようにした上で、行うべきである。
行っている事は良いと思うが、同じ内容のものが何枚も届き、紙を使いすぎではないかと思う。
行っている取組を見直す
行って良いと思うが、皆、関心がないようだ。
高額(高度化)医療の負担増はある程度必要となるが、病気予防の知識は食育と子供の頃からの教育である。
高額医療受給者(例えば年間10万円以上とか、20万円以上とか)については、通知等を行った方が良いと思う。
国・協会けんぽ・組合・共済など、全ての機関が統一に行うなど、効率化のうえ実施
国全体が統一した取組で望むべき。
国民皆保険(保険料は所得に応じ)が望ましい。加入者資格再確認は費用対効果で見直すべき。
国民健康保険と社会保険のダブリなど、一目瞭然でわからなくてはいけないはずなのに、扶養者の確認を行わないとわからないのは問題です。
今のままでは効果が出ていると思えないので、効果が出るような取組を考えるべき。
今の状況で費用対効果がないのならやり方を考え直すべき
今は効果を見込めるものだけに特化して費用もかけない方法を考える
今までに医療費適正化のためのいろいろ取組をしてきたから現状でよい
今までの効果結果により判断すべき事であり、全ての内容提示があつて判断を仰ぐのであれば返答も実情に対して出来るが、提示項目のみでは上辺の各自の判断を求めているだけで実際の判断とは成り得ない。中身の伴わない考えを誘導活用されても分からない。②の如く、見込める結果が出ているのであれば実行すべきであるが、効果の無いものは早く切り捨てるべき判断が必要であり、投薬に関しても同様で安価なものを選択肢させるのではなく、優先的に使用する様に(患者に適用の有無が判断された上で)すべきである。年1回の医療費の状況報告に関しても疑問な点は有るが、認識的にはどうなのかと言う事である。また、加入資格に関して委員の認識と活用、それ以外には通知・励行の義務を負わせる方法、レセプト検核は勿論、保険適用医療機関の審査及び適正な医院の公表、医院側にも自覚を促す。
今回のこのお知らせも、事業主と保険委員と2部別々に送付されている。むだだと思いました。やらなくてはいけないこと、はぶけることなどの見直しをしてほしいと思います。
最低限の費用でやるべきだと思う。(人件費も含め)
削除できるところは、削除し、必要な所へ投資した方が良いのでは。
賛成の部分と反対の部分があります。賛成…加入者資格の再確認(もっと厳しく)反対…医療費のお知らせ
使った事がないので、よくわかりません。
支援と目的を明確に仕分けし、不要をはっきりすべき 医薬品は可能な限りジェネリックにするべき 高額医療費支援(支援の要、不要を審査する)はしかたがないが傷病手当金の給付等は再検討が必要かと
支出の適正化というより、医療の適正かどうか論じられる時代になっていないのだろうか。立派な医師でも儲け下手、単に症状をおさえる薬を出している医師が上手な医師？よくわかりませんが、現在患者の顔色を見る医師が少なく、パソコンの画面ばかり見えています。
支出の適正化に努めるのではなく、是正していくようにする。(医者に指導する)
支出をおさえる為、それ以上の支出をしている様にも思う。③については各自認識する為には良い事だと思う。
資格を喪失している人への給付を防ぎ適正な給付としています。ジェネリック医療を促進。この2項目だけの取組でいいと思います。
事業によっては見直すことも必要と思われる
事業を必要最低限に絞り込み、効率化を計り、支出の削減につとめるべき
事業内容の精査により医療費の適正化を図っていただきたい。特に、年1回の医療費の状況については紙ベースで行う必要性は低いと思います。
事後指導、薬代等は行うべきではあるが、年1回の医療費状況は特段必要ない。保険料を使う内容をもっと精査する事が必須と考える。
時と場合により現状何とも言えない。
自己満足で終わっているものが多いので、もっと外部の人の意見を聞いて本当に必要なものだけを行うようにする
自分が支払った金額ばかりに目がいって、負担してもらっている感覚はないと思う。
自分の身体は本人が節制して守ることが前提であるが、あまりにも身勝手すぎるので罰則が設けることができなければ本人負担分をもっと高くし、難病や症状による医師判断による要治療の重要度により還付する方法とする
実施項目、方法の見直し
社会保険事務所より分離させた意味が不明。
種々の取組みをたくさんすることがいいとされるのではない!!無駄なところはないか、確認見直しが必要である。
需要が無いものに投じる必要はない。医療費のムダを感じる。
重複する検査をやめさせる
助かっていることもあるけれど、無駄なこともある。(これって必要?)見直す点はいくつかあるのではないのでしょうか。
少ない費用で効果的な方法で進めていくべきである。
少々のことでも病院にかかる傾向を減らしていく対策をとるべき。
常に見直しを行い、保険料を大切に使うべきです。
情報化社会なので、国がやってもよいのではないかと思う。
状況を知らせても改善はのぞめないと思う。不必要である。上記の中には不必要なものがあると思いますので保険料を使ってするのであれば最少減にとどめてほしい
色々な窓口が多く、給料などの面でも沢山のお金がかかっていると思うので株式会社にしてはどうでしょうか?又、色々なアンケートをとっていますが、このようなものが保険料負担の軽減になっているとも思えず、郵送料その他の資金もかなりかかっていると思います。株式会社なら無駄な人などすぐにリストラされます。もう少し自分達で考えてはいかがですか?
新聞紙上で見受けられる様に医療費の不正請求等が有り被保険者が確認する事もよいと思う。
診料費そのものの単価を下げるべきだと思います
人口減少という空前の事態に今までも同じやり方で対処しようとしてもムダ。国保、健保、共済との枠組みを解消し、シンプルで誰もが分かりやすい保険をつくり直す
政治家の国庫のムダ使いを直すべき
生活習慣病など、事前に予防対策を取り組んでいけば、防げる病気等に対してもっと啓発をすべき。
生活習慣病による病気や病院にかかった場合は、窓口の自己負担額を増やす(保険適用外にする)肥満によっておこる病気は自己管理責任がないからです。食べたい時に食べたい物を、食べたいだけ食べる。自分を甘やかしている結果です。
精査して必要最低限にする。
絶大な効果を上げる場合は、どうしても費用がかかるので、それを保険料を使ってまでやるのは本末転倒なので、ある程度の取組でよいと思う。
先発医薬品も特許が切れるまでに開発者は相当補充されているはずだから、価格を下げてよいのではないかと
選択
前出質問3の②をしんげんに考え、効率的な金の使い方を考えてムダをなくせばお金をかけてもすべき
送ってくる書類も多すぎて、目を通すだけで手一杯。たまら一方である。
送られてくる資料、お知らせ 助かっています。
他の施策はよいとして各人に医療費の状況を知らせても効果はないのでやめるべきである。自分の医療費の状況を知っても、医者ではないので対応のしようがない。
他は良いが、健診後の～は、冊子等の配布などでしか見られず、ほんの一部の効果しか見込めないように思われる。
大事なことが、費用が発生してしまう。財政状態の詳細が分からないので、意見を述べられない。
沢山の取組を良くやって下さっていると思います。これからも現状維持しながら、新しい取組をすすめて下されば…と思います。
中には賛同出来るものも多のですが、医療費の状況が来ても、目を通さなかったり、あーここに行ったな。と思うだけで特に意識しないので、ムダになっているのかも知れません。こんな人、少なくないと思います。だから、3番目は不要では?
適正に活用されたい。
適切な指導は必要①①
適度に実施
天下りをつくっているだけの事、やめるべき
点検、適正化が多いに求められるが、実際に効力を発揮出来るのか?(チェック機関の権力拡大が必要)
努力は認めるが、リーフレットやお知らせが多すぎるのではないかと。封筒(返信用)の封入等も無駄が多いのでは。メールやHP等活用できないか。
働く以上悪いところは治療すべきで健康管理していく為には、医者にかかざるをえないでしょう。上記の5つの取組は必要だと思う。しかし、それにより保険料が使用されているならば、難しいです。
内容による。PR活動にとどまるものは、メディアをお願いしてPRにつとめてもらえばいいだろう。チェック等が必要なものは独自にすべきだし、外部に委託しても公平性が失われぬものについては外部に委託すれば良い。
日々血の出る様な姿で懸命に働いて、納めている保険料をこれ以上に上げるとなると、お上は何を考えているのか。
年間を通して、一度も保険を使わない者に対して、何か還元しても良い気がします。(他機関では有る)
被扶養者を含む資格喪失者への誤った保険給付を確実に防ぐ仕組み作り。
被保険者(加入者)に対して情報は必要ですが、現在行っているサービスを見直し、必要でない経費を削減する

病院が薬を適正に出しているかチェックすべき医療行為等も
病院によってはジェネリック医薬品を使用されていない保険者は全員ジェネリックを使用すれば大きな金額が予算少になるのでは。
病院に行かなくてもいいのに行っている人もいる。又病院側も患者の依頼で安易に薬を出している、～金もうけ主義？
病院に行く前やその後に相談出来るところがあるといい。しかし、保険料を勝手な理由で取めない人達を各市町村単位で把握し対策しなければいけないと思う。
病気になる度重く化しない方向を見すえていくべきである ③は意見がない
病気の度合は自己判断できないので、医療機関を受診する事は多々ある。軽度なら、病院にかからず…と言われているが、はたして、そう言い切れるのか？
病気探しよりもっと楽しく生活を送る人を支援し健康な人をもっと増やす様に流れを変えてほしい。
不正請求も良く調べること
保険給付のみ行うべきだ。レセ点検等は民間委託等の経費を削減すべきだ。
毎月の広報や、職場の体操巡回など無駄を極力はぶいてほしい
毎年送付される医療機関の請求書内訳は必要ないと思います。ジェネリック医薬品は窓口で希望しても、ほとんど拒否及び患者側が薬に関しての知識がない為、押し切られる事が多い。保険指導は徹底してやるべき(希望者のみではなく)
民間に任せられるものは民間に行わせ、経費圧縮できるものはして欲しい。
民間の病院と健康保険立(公国立)の病院は不公平である。上記の事についてもジェネリックの採用ひとつとっても本気でやろうとしていて、結果が出ているのですか？
無駄なことはやめる事。又これらをチェックする機関を設置し、公平さを保つ。
無駄なパンフレットが多すぎるのでお金をかけすぎない
無駄なものはやめてもらった方がいいですが、効果があるものはしてもらったと思います。
無駄に広告・資料に経費をかけすぎているか。効果的に使われているか検証が必要
無駄を省いて取組んで欲しい
ムダな事は、しなくて良いのでは？
ムダな書類やチラシはいらない。
ムダをなくし、必要なもの、不要なものを検討すべきでは？
ムダをもっと削減してほしい。・年1回医療費の状況一希望者のみ送付したらどうか？・協会けんぽ印字入りファイルは不要では？
ムダを除く事、保健指導で毎月のTEL等、訪問指導はいらぬ。本当に必要なのは、病院に定期的な検査と実施と考える。
ムダを省く！
郵送物や配布物が多いが、あまり見ている人が少なく本当に必要なものにする方が良いと思う。
パンフレットなど不要なものを見直す事 情報の押し売りは不要
パンフレットやお便り、レセプト、広報等の簡素化、安価なものに変えるだけでも、使用する金額を低く抑えられるのではないのでしょうか。
案内資料にお金がかかりすぎている様に思う。特にカラーにする必要もない
以前よりは減ったような気がしますが、パンフレット等のカラー印刷やカラー写真にお金をかけすぎているものがあると思います。
色々な書類を送って頂いているが、カラー印刷でなくても良いと思われるものもあり、似たような内容のものは不要かと思われる。通信費ももったいないと思います。
印刷物、配布物etc. を減らして経費削減を徹底すべき。
印刷物など多すぎる。もっと経費節約をすること。
印刷物の数を減らす。同じような内容のお知らせがいくつもあるようなので。
配布物の方法や内容等見直し、支出を減らすべき
ほとんどの人が、見ないでゴミ箱行きになるようなお知らせは、必要ないと思う。
ほとんど見ていない人がほとんど。すぐずてられている。
まず国民の健康保険(社会保険)番号をコンピュータ整理で一元化すべき。資格取得、喪失にはどうしてもタイムラグができるので、このチェックだけでも真大な費用と労力がかかってよりムダ。なぜこのムダから削減しようしないのか。
同じ内容の物が多すぎます。印刷等経費をかけすぎです。
無料の社会保険労務士の用な気軽に相談出来るシステムが欲しい
薬、ジェネリックを使わない、使いたくないと言う人は差額を払えば良いと思う
薬を使わないで健康を維持する啓蒙運動をやるべきです
薬を出しすぎたり、過剰に器具を使い運動しなさいと言ったり病院の言いなりになっている人が多いのではないのでしょうか。病院の指導も必要ではとよく思います。
薬を適正な量を提供する方法が必要
薬以外に医療用器具等をもっとやすく。
薬剤師が被保険者に対してジェネリック医薬品を進めることで薬代の負担が減少すると思う。
薬代、医療費が高すぎる
薬品や診療日数が適正か確認して頂きたい。(精神疾患等による交通事故がありました。テレビ報道では大量の薬が加害者の部屋から発見された等があり、有名医大の教授のコメントでは担当医が薬に依存しすぎているという話もありました。)
予防医療と体力・健康増進の施策にもっと力を
予防医療は保険適用されないのに、医療費抑制に保険料を使うのは、いかがなものか？医療費抑制は各医療保険者共通の課題だと思いますので国費で取り組むべきものと思う
累進課税制度を導入しないのなら年1回の医療費送付は無意味
例えば、ジェネリック医薬品は通っている先生は「あまりすすめない」などと話している病院。また、目に入りやすい所に貼紙があるなど、こんな意見のない背景があることを、あなたたちは知っているのでしょうか。
40才以前の生活習慣病予防のため、各地域にスポーツレニングセンターを増やし、気軽に運動できる場所を提供する。(予防に力を入れ医療費を使わない様…)
(国と道との決定事項の柔軟性を求める)・加入者資格の再確認とともに加入要資格法人の再確認も行ってほしい。・医療費の状況も確定申告に使えるものとして発行してほしい。・ジェネリック医薬品は個人に申請させるべきではなく医療機関の方で選択させるべきである。・健診結果によっては保健指導等の義務的措置をとるべきである。
「お金をかけてもやるべき」ではなく、ムダのない使い方をしていただきたい！！大切にに使っていただきたい！！
「やめる」までは考えないが、医(歯科)師会等との組織が絆っているように見える。国民に理解が得られるようしっかりチェックしてほしい。
「やらなければならないこと」と「他で対応できること」を見極めることは必要かと思えます。(ジェネリックの使用促進については、医療機関や薬局などに、もっと力を入れてもらってもいいのでは?)
「協会けんぽ」「ほっかいどう」等の広報紙の発行など我々にはほとんど見る余裕が無いので無駄の様に思える
「協会けんぽやまなし」等がカラーでしかも上質紙ですのでどうかすぎると思います。
福岡県では、どういった疾病で医療機関を受診する人が多いのか、など、情報を公開した方がよい。健康診断も闇雲に行うのではなく、地域の独自性を打ち出していく方法も考えた方がよい。
物事には限度があります。上記の事により雇用が生まれる…と見れば、それもまた、良いのですが、ボーダーラインを見なおして欲しいですね。公費もまた、税金だから、同じと言えば同じですヨ。
枠組・しくみそのものを改革する。

